



米合衆國貨幣委員報告書

第四号ノ二

大藏省
翻譯課





一、デ、エス、ボウ、トウ、エ、ル、氏、衆、議、ニ、及、ス、ル、ノ、報、告、

鬼頭悳次郎譯

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

シ源因ト古令衆因ニ於テ金銀ノ両本位ヲ回復スルノ処置ト將
又金銀ノ両本位ト共ニ「メリー」ニベツキ紙幣ヲ依然僱用スルノ
策如何トニ付テ調査探究スヘキ旨ヲ命セラレタル当貨幣委員
ノ一員ナル余ハ同僚委員ノ過半議定セシ所ノ決議案ニ同意一
致スルヲ得サルヲ以テ茲ニ謹シテ聊カ卑見ヲ開陳シ以テ上
院ニ上呈スルヲ左ノ如シ
抑モ当貨幣委員ノ着目注意スル所ハ重モニ左ノ三ヶ条ノ調査
ニ在リトス

第一

銀貨ノ鑄造ヲ許スルニ以テ殊更法律上ニ於テ豫定シアルモノカ

歳
目

若クハ殊更ニ預メ條約ヲ締結シテ定メ置キタルモノヲ除ク外
ハ何事ニ限ラズ一切ノ仕拂上ニ於テ之ヲ我合衆國ノ合法貨幣
ト為スヲ適宜相應トナスヲ

第二

字内諸國ノ政府ニシテ今現ニ我合衆國ト通商貿易ヲ以テ關係
懇親ナルモノヲシテ我合衆國ト共ニ万国會議ヲ開カシメ以テ
此ノ諸國ニ於テ金銀二者相互ヒノ價格ヲ一定シ以テ金銀ヲ兩
ツナカラ本位トシ供用スルノ如何ヲ商議セシムルヲ適宜相應
トナスヲ

第三

以上第一策並ニ第二策共何レモ我合衆國政府ニ於テ正金拂ヲ
再行維持スルニ付テ大ニ影響ヲ来スヘキヲ
夫レ尙貨幣委員ノ過半着目注意スル所重モニ以上ノ三項ニ在

リト雖モ余カ觀ル所ヲ以テセハ今ノ時ニ當リ一項ニ開陳スル
カ如キ方法ヲ履ミ同項ニ示セルカ如キ使用ニ供セズカ為メニ
銀貨ノ鑄造ヲ許允スルハ我合衆國ノ政府ニ執リ適宜相應ナラ
ストナスナリ

又余カ看ル所ニ於レハ亘ク字内ノ商業國ニ協議シ万国會議ヲ
開キ條約ヲ締結シ一定同意ノ法制ヲ布キ以テ金銀二者相互ヒ
ノ價格ヲ一定シ此ノ諸國皆金銀ヲ兩ツナカラ供用スルヲ
預定スルノ賢愚如何ヲ商議セントスルハ實ニ我合衆國ノ政府
ニ執リ今日ニ適中スルモノナリトス之レカ故ニ到底我合衆國
ノ政府ト自他ノ商業國ト右ノ金銀供用ノ條約整フ迄ハ我合衆
國ニ於テハ正金拂ノ再行ニ就テ是迄ノ処置ヲ改メス依然続行
スルヲ以テ適宜ナリトナスナリ
凡ソ金銀ノ二者ハ自他何品何物ヨリモ之ヲ價格ノ標準トシテ

使用スルニ能ク遠慮スルトノ説ハ公議共論ノ帰スル所ナレハ
今此調査ニ當リ何故ニ人々之ヲ以テ遠慮トナスニ至ルカヲ探
究スルハ緊要ニアラストナリ
以上云フ所ノ金銀ノ二者カ能ク價格ノ標準タルニ遠中スルノ
説ハ實ニ然リ然リトセカバカラス依テ尚ホ一步ヲ進メテ論及
スレハ仮令ヒ万国普子ク然ラスト雖氏金ハ至ル所皆價格ノ本
位タルハ是亦實ニ然レリ然ルニ銀ニ至テハ之ヲ本位ト為ス
トテ拒絶スルモノ鮮少ナラス
是故ニ銀ヲ金ト均シク本位トナスノ説ハ到底維持スベカ
ルノ論理トナスナリ
試ニ看ヨ現ニ銀ヲ貨幣トシテ使用シ之ニ合法貨幣タルノ性質
ヲ付與スルノ國ニ於テスラモ唯銀ヲ以テ一個ノ商品トナス而
已ニレテ其外國ト取引アルニ當テマ銀ノ價格ヲ量ルニハ必
ラ

ス金ヲ以テシ又以テ金本位ニ依テ之ヲ定ムルモノトス
既往三ヶ年間ニ在リテ銀ノ賣買價格非常ノ變動アリタリト雖
氏今此變動ノ依テ以テ生セシ所以ハ銀價ノ下落ニ依ルカ若ク
ハ金價ノ騰貴ニ依ルカヲ調査スルハ不用ニ慮スト云フベシ夫
レ字内普子ク其本位トナシ價格ノ標準ト定ムル所ノモノハ獨
リ金ニ止マルヲ以テ凡ク自他諸品ノ價格ヲ量ルニハ則チ金ヲ
以テ之ヲ量ルモノトス勿論本位ト雖氏万古不易ノモノニアラ
サレハ変更スルモノモ間々ナキニアラスト雖氏一旦金ヲ以テ本
位ト定メ人々之ヲ本位トナシテ兼知スル間ハ幾百年ノ久シキ
ト雖氏銀ハ勿論其他諸物品ノ金ニ對スル割合ハ眞實ノモノニ
シテ何品何物ニ限ラス其物價ヲ定ムルニハ必ラス此本位タル
金ニ拠テ以テ定メカレバカラス
凡ク是迄一回タリ氏時ヲ同フシテ價格ノ本位ヲ兩ツナカラ

用維持シ得カリシトノ説ニ付テハ人生ノ経験以テ能ク此説ヲ
然リトナシ人世ノ経験ヨリシテ同一ノ証跡ヲ示スモノナリ又
字内至ル処何国何地ニ論ナク金銀ノ両本位ヲ採用セシ国々ニ
於テハ其国ニ通用セシ貨幣ヲ採用セシ国々、其國ニ通
用セシ貨幣タル自他字内ノ諸国ニ於ケル市價ニ對照シ成貨中
ニ含蓄スル地金ノ價格ニ比較スレハ法律上ニ於テ不相肖ノ價
ヲ有セシモノ而已其國ノ通貨トナリテ自他ノ貨幣ハ一切流通
セカリシナリ

是カ故ニ字内各回凡ソ金銀ノ両本位ヲ採用セシ国ニ於テハ必
ラス成貨トナリテ實價外ノ價格ヲ占ムル金屬而已使用スル所
トナリ自他ノモノハ皆流通外ニ置レタルナリ
試ニ今迄ク例ヲ引テ之ヲ証センニ目今尙合衆國金「ドル」ラハ
本位金貳拾五「ゲレ」ント十分ノ八ナルニ付キ本位銀四百拾二

「ゲレ」ント拾分ノ五ヲ含蓄スル銀「ドル」ラハ此中ニ含蓄スルモノ
ヨリハ一層許多ノ純銀ヲ購買スルナラン夫レ斯ノ如ク金同ル
ラハノ價格大且貴ケレハ其使用随テ止マリ我合衆國ノ金貨モ
金ノ地金モ両ツナカラ直チニ他邦ニ輸出セラレ銀ト相交代ス
ベシ之ヲ以テ未ル処ノ銀ヲ鑄造シテ貨幣トナスハ是則
キ我合衆國內ニ流通スルニ至ラン

果シテ斯ノ如クナレハ字内各回ニテ廢黜棄除セシ銀貨ハ蓋シ
我合衆國ニ流入スルナラン之ニ依テ一朝我合衆國ニ於テ銀
ノ奉ヲ施行セシ上ハ絶ヘス銀價ノ下落ヲ生スルヤ固ヨリ論ヲ
竦ス蓋シ吾人ノ経験不幸ナルヨリシテ他日字内ノ商業國ニ於
テ銀ノ奉ヲ正テナハ逆論ヲ生スベキナリ
他諸國ノ政略ニハ關セヌシテ我合衆國ニ金銀ノ両本位ヲ採用
セシトナシ主張スル輩ハ吾人カ銀貨ヲ使用セハ字内ノ諸市場ニ

於テ銀價大ニ騰貴シテ金貨ト平價ニ至ラント思慮スルナ
リ
夫レ斯ノ如キ臆断想像説ニ向テ應答スヘキモノハ漸ク僅カニ
次ノ教言アル而已云ク所謂銀價騰貴ノ如キ結果ヲ来スヘキ証
跡毫ミ之レナク却テ日耳曼ニ於テ曾テ廢銀セシトト羅甸聯邦
諸國ニ於テ銀貨鑄造ノ制限ヲ設ケシトト印度ニ於テ銀價減少
セシトト其他又亞米利加ニ於テ巨額ノ銀ヲ産出セシトト此ホ
ノ教件ヨリシテ仮令ヒ我合衆國ニ於テ鑄造ノ用ニ供スル為メ
銀貨ヲ増求スルアルモ其影響皆無ニ帰シ随ツテ又向後十一年
ノ間ニハ銀ノ金ニ對スル價格ハ今日ヨリ尙ホ減少スベキトヲ
預知前言スルハ大ニ當ヲ得ルモノナリト云ハシ而已
抑モ今ノ時ニ當リ宇内至ル所運輸ノ便開ケ陸ニハ鐵道電線ノ
設ケアリ海ニハ汽船往復ノ便アルニ於テハ凡ソ商業國タルモ

ノニ執リテハ其價格ノ本位標準トスル所ノモノ則チ自他商業
國ニ於テモ異儀ナク之レヲ兼知セシムルコト最大緊要ノ事
項ナリトス
一 價格ノ本位トシテ金銀二者ヲ利用スル所以ハ概シテ云フ
マカラスト虫氏重モニ左ノ二項ニアリ則チ第一ニハ我國諸
紙幣ヲ引換ユルト第二ニハ他國トノ輸出入ノ差ヲ拂フタメ
ニシテ主トスル所此一點ニアリ
以上開陳スル所ノモノト共ニ一事ノ注目スヘキモノアリ他ナ
シ凡ソ一國ノ紙幣タルモノ其所持人ノ望ニ應ジ正金ヲ以テ引
換ユヘキトニ定リ居ル時ハ外國トノ輸出入ノ差ヲ精算スル為
メニ正金ヲ要用トスル場合ニ臨ミ其所持人ヨリ紙幣ノ引換ヲ
請求スルモノトスルコト是ナリ之ニ依テ今我合衆國ニ於テ正金
拂ヲ再行スルヨリシテ生シ来ル所ノ大利益ハ我合衆國ノ市

氏ト他諸國ノ臣民高買ボトノ高賣取引上ニ及ホス所ノ便益ヨ
リ外ナラスト云フベシ。後令ヒ若シ正金拂ノ再行ヲ企ルニ主ト
スル所此結果ヲ来サ、ルノモノナラシニハ何様ノ計策ヲ施シ
何ボノ処置ヲ行フモ到底當時ノ需求ニ違スルヲ得サルモノ
ト云フベキナリ

夫レ我合衆國ヨリ他國ニ拂フヘキ為換手形ノ仕拂ヲナスノ地
ハ大英國タリ然ルニ今此大英國ニ於テ銀ヲ以テ唯一商品ト
ナス間ハ後令ヒ當合衆國ニ於テ銀貨ヲ本位トシテ使用スルア
ルモ正金拂ノ再行ヨリ生シ来ラントスル緊要ノ結果ヲ更ニ生
スルヲ得サルベシ

抑モ正金拂ノ再行トハ我合衆國ノ紙幣所持人ノ望ニ應シテ之
ヲ正金ト引換ユト云フヨリ外ナラス但シ其正金ハ我國ヨリ他
國ヘ拂フヘキ負債ヲ償却スルニ當リテ異儀ナク貨幣面ノ價格

ヲ以テ受取ルモノタルベシ

我合衆國ノ紙幣ヲ所有スル者ハ其紙幣ノ引換ヲ乞ヘハ之レカ
代リニ銀ヲ得ルト云ヒ其銀ヲ以テ購買シ得ルト云ヒ其金ヲ以
テ倫敦ニ拂フヘキ負債ヲ償還シ得ルト云フモノアラハ然ル上
ハ其所持人ナル者ハ允ソ何事何件ニ限ラス今為シ得ヘキヲ
為シ得ルト云フト異ナルナシ斯ル説ヲ唱フル者ハ我合衆國
ノ紙幣ヲ所持スル者ハ金ヲ購求シ得又其金ヲ以テ外國債ヲ拂
ヒ得ルモノト云フベシ

倫敦ハ字内ノ會計ノ中央理財ノ中心ナリ然リ而シテ倫敦ノ之
カ中央トナリ之カ中心トナルノ本源ニ付テ兩説アリト雖此兩
説トモ我合衆國ニ於テ銀貨ヲ價格ノ本位トナスノ政略ニ何ボ
ノカヲ添フルトモナシ

試ニ其一説ヲ奉レハ英國ハ千八百十六年議院ヨリ條例施行セ

シ以来獨り金貨而已ヲ以テ價格ノ本位ト定メタリシカ此條例ハ英國ノ高業ヲ以テ字内ニ冠タリ理財上ニ於テ世界ニ卓越タルノ基礎本原ナリト然ルニ余ヤ此說ニ全意一致セサルニ付余ヲ以テ之ヲ觀ルニ若シ此論ノ如ク英國ノ高業隆盛國家富饒ニ至リタルハ千八百十六年ノ條例ノ然ラシムル所草ニ其效ニ拠ルト云ハ其政略ノ宜シキヲ得ル固ヨリ矣ヲ跋クサレハ目今我合衆國ニ於テ之ニ模擬シ此策ヲ施スモ必ラス無效ニアラスシテ我合衆國モ此策ヲ施スヲ要スルト云フヲ以テ至当トナスナリ夫レ然リ然リト雖モ熟々余ヲ以テ之ヲ觀ルニ抑モ英國ノ富饒ヲ以テ字内ニ冠タル所以ハ諸製造ヲ獎勵シ又以テ其海軍ヲ張り海上ノ権力ヲ養成擴張スルノ政略ニ拠ル所多クニ居ルモノトス

然レモ又獨り諸製造ノ獎勵オニ止マラス英國ノ資財ヲ儲蓄スルハ我合衆國ニ於ケルヨリモ一層許多ニシテ且ツ字内各所ト高貴取引ヲ行フニ當リ為メニ為換ヲ組ミ繰替金ヲナスニハ何レノ國何レノ地ヨリモ英國ニ於テ一層廉價ニ之ヲ得尚且ツ英國ハ此ボノ事ニ付テ依然卓越タルニ倫敦ハ將來尚モ他諸國ニ執リ之カ為換取組所トナリテ己モサルヘシ目今ノ処ニテハ英國ニ輸出入ノ差ヲ拂フニ當リテハ必ラス金貨ヲ以テ之ヲ拂ハザルベカラサルカ故ニ他ノ高業國ニ於テモ矢張り金貨ヲ以テ専ラ價格ノ本位トナスコトハ得策ナルニ似たり否ラサレハ寧ロ字内ノ高業國ナル者宜ク同盟一致シ英國ノ如キハ必ラス其同盟中ニ加テ以テ金銀兩本位ヲ採用スルハ蓋シ得策ナラン我合衆國ニ於テ銀貨ヲ使用スルヨリシテ生シ来ルヘキ結果ニ

付テハ既ニ前文ニ開陳セリ依テ今尚ホ我合衆國人民ノ信用ト
信任上トニ其結果ヲ波及スルモノニ付一言ヲ惜ムアタハサレ
ハ左ニ論スル所アラントス
夫レ千八百六十二年二月二十五日發行ノ條例ニ於レハ凡ソ輸
入品ノ諸税ハ悉ク皆正金ヲ以テ拂フコトニ決シ其收税ハ別途資
金トシテ之ヲ別項ニ備ヘ置キ追テ遣拂ノ目途アルコトニ定マレ
リ
扱其遣拂ノ目途ヲ舉レハ第一ニハ我合衆國ノ公債証券ノ利子
ヲ正金ニテ拂渡シテ第二ニハ我合衆國ノ總國債ノ中尙ホ又買上
ケ則チ元金ヲ償却スルカ為メナリシ是レ國債償却ノ為メ豫備
スル資金ニシテ此利子モ時々大藏卿ヨリ命令アリ次等資金同
様ニ國債償却ノ為メニ使用スベキモノナリ
千八百三十四年發行條例ヲ以テ銀價ニ對シ太ニ金價ヲ増加

セシユハ實際上價格ノ本位タリシ者ハ金價ニシテ僅カニ銀價
ヲ使用セシハ補助貨幣ノ流通ニ止マリシ而已ナリキ尤モ此補
助貨幣ノ如キハ實ニ「ト」クシテ千八百五十三年ノ條例
發行以來ニ至リテハ其量目餘程減少シ最早購買シテ地金トナ
シテ使用スルモノ之レナカリシ程ニ至レリ
千八百六十二年ノ條例發行ノ時ニ當リテハ我合衆國內ニ於テ
流通セシ正金ハ獨リ金價ノミニシテ價格ノ本位タルモノモ又
金價ニ止マレリ
實ニ此時ニ於テハ海關稅ハ專ラ金價而已ヲ以テ納メ爾來今日
ニ至ルコト獨リ金價而已ヲ以テ之ヲ徵收セリ將又國債ノ利子
モ始終悉ク金價ヲ以テ拂渡セリ
假令モ我政府ニテ本位銀四百拾貳「ゲ」レトシ指分ノ五ノ量目ヲ
以テ銀價ヲ鑄造使用スヘキ令ヲ布キシト至ル迄ニ角其實銀價

ノ鑄造暫時停止ノ姿ニ属シ獨リ法律上ニ於テ餘分ノ價格ヲ占
マタル金貨而已一般ニ代用セラレタリ
是ニ由テ今我合衆國ノ公債証書ヲ所持スル財主輩ハ嘗テ千八
百六十二年ノ條例發行ノ時ニ當リ金ヲ布キテ定メタル本位價
格ノ金貨ニシテ當時流通セシモノヲ以テ其公債ノ元利ヲ拂受
クヘキ権アルヲテ請求スルモ實ニ當然ナラン
蓋シ余ヲ以テ之ヲ觀ルニ銀貨ヲ本位ト為スカ如キハ損失タル
ヲ免レサルヘシ其故何トナレハ一時政府ハ其國債ノ元利ヲ拂
フニ金貨ヨリ價格ノ低下ナル一貨幣ヲ以テスルカ故ニ幾許ノ
利益ヲ生スルアルモ此舉ノ為メニ人民ノ信用ヲ傷フヲ甚々大
ナルヲ以テ得失相償フヘカラサレハナリ
凡ソ不良ノ処置ヲ施シ不信ノ拳ヲ行フヨリシテ一度人民ノ信
用ヲ傷フハ仮令ヒ其処置タル左マテ罪スヘキモ^{カラサル}ニモセヨ

^{又罪ス可シ}
ルトモ此信用ノ減亡ヲ償フベカラズ
夫レ銀貨ヲ以テ本位ト為スノ拳ハ斯ク人民ノ信用ヲ傷フノミ
ナラス尚ホ一步ヲ進メテ論及セハ凡ソ輸入品ノ稅ヲ徴收スル
ニ若シ銀貨ヲ以テセハ自他諸國ノ金貨ニ對シ銀ノ市價^{変更}アル

ル毎ニ其影響ヲ受クルナラン殊ニ英國ノ如ク金貨^{以テ}其本
位トナシ價格ノ標準ト定ムルノ邦國ノ金貨ニ對シテハ尚ホ然
リトス斯ク銀價ノ高低アルカ為メニ其影響ヲ我合衆國ノ製造
人並ニ貨物輸入ノ業ニ從事スル商人ニ波及スル所ノモノ如何
ハ容易ニ先見豫知シ得ル所ナリ
當合衆國ノ不交換紙幣ノ弊害タル一ニシテ足ラスト至モ其中
最モ甚シキモノハ一ヲ舉ゲンニ凡ソ輸入人タル者其品物ヲ販
賣セシニ代金トシテ紙幣ヲ受取リタルニ依テ之ヲ金貨ニ交換

セントスルニ其品物ノ價格ト金貨ヲ以テ併ヒシ輸入税トヲ合
シテ此販賣ノ價格ト同價ニ至ルヲ決シテ保証シ能ハサルノ
一事ニアリ尤モ此事タル外品輸入ニ執リテハ關係スル所大
ヒナリト雖トモ内國製造人ニ執リテハ左マテ甚タシキ害ヲナ
サス
不交換紙幣害ハ輸入人ニ止マリテ内國ノ製造人ニ及ホサル
ト夫レ斯ノ如クナルニ一朝若シ紙幣ニ代フルニ銀貨ヲ以テシ
諸税ノ納メ方ニ之レヲ使用スルニ至ラハ内國ノ製造人タル者
ハ金本位ヲ以テ標準トナスニ當リ銀價絶ヘス變動ヲ生ズヨ
リシテ起ルゴノ影響ヲ其事業上ト所得上トニ恒ニ受ケサルヲ
得サルヤ明ラカナリ
凡ソ如何ナル邦國タリモ同時代ニ於テ其價格ノ本位トナシ得
ルモノハ只一個而已是カ故ニ若シ同時ニ金銀ヲ併用シ両ツナ

カラ鞏固安全果シテ效用アラシクヲ欲セハ只左ノ二策在ル而
己乃チ其一ハ金ト銀トノ價位ヲ一定シ變動ナカラシムルト其
二ハ字内ノ商業國ニ於テ兩本位ヲ使用スルヲ協同一致スル
トニアル而已
余ノ看ル所ハ廣ク字内ノ商業國ノ同盟一致ニ依リテ金銀ノ二
者ヲ併用センコトヲ欲スルニアリ然レモ又金銀ニ関スル現在ノ
処置ヲ依然続行スルヨリシテ何ボノ甚烈ナル弊害ヲモ吾人ニ
来スヘキノ説ヲ有セサルナリ
目今吾人ノ用ユル所ハ金本位ナリ然リ而シテ現今假令モ我合
衆國ノ紙幣ノ價格微少セシク五分乃至六分ノ甚シキニ至リシ
ト雖モ其全局ニ就テ之ヲ視レハ南北戦争鎮定以來其價格斷ヘ
ズ改良ニ赴ケリ
既往三ヶ年間ニ當合衆國ノ商業衰頽ノ色ヲ表セリト雖モ蓋シ

此衰頹ヲ来^レハ、尙合衆國ノ貨幣ノ然ラシムル所ニ非サルヲ証
跡判然タリ其故何トナレハ我國ト同種同様少シモ増減多寡ナ
キノ衰頹ヲ均レリ大英國日耳曼及ヒ西細亞中ノ諸地方ニ生セ
レテヲ以テ証徴スルニ足レハナリ
前三ケ年間ノ商業衰頹ノ依テ来リシハ我貨幣ノ然ラシムル所
ニ非サルヲハ斯ク証徴ヲ以テ判然タルカ故ニ尙一步ヲ進メテ
尙ニ云ハシ輓近尙合衆國ニ於テ商業上ニ非常ノ改良ヲ来セシ
モ是又我貨幣ニ関スル処置ニ付何ボノ変更ヲモナサスレテ今
日ノ改良ヲ来セシナリト
今日ノ状況ニ依レハ此商業ノ改良漸々進歩スルヤ固ヨリ論ヲ
竣タカルカ故ニ若シ我合衆國ト自他諸國トノ頃易上ニ於テ我
輸出ノ彼レノ輸入ヨリ多クキ^ル然止^ルコサランニハ我紙幣ノ
金ニ對スル價格陸統騰貴ニ就クナラン

既ニ昨年ノ如キハ我國紙幣ノ金貨ト對スル價格ハ尙時本位ト
定マリタル銀貨丈ヶ高貴ノ價格ヲ商業上ニ有リ然ルニ今後ヲ
ニ紙幣ヲ鑄造スル費用ヲ増加シ我國ノ信用ヲ傷ヒ我政府ノ國
債ニ付字内ノ信任ヲ失ヒ諸市場ニ於テ我諸公債証券ノ價格ヲ
減少シ尙ホ弊害爰ニ止マラスシテ終ニハ商業ノ隆盛回計ノ字
内ニ冠タルヲ以テ大英國ト競争スルノ道ヲ失ハサラシムルニ
至ラン
抑モ正金ナル者ハ紙幣ヨリ一層費用多クキモノナルト凡ソ
金銀貨ヲ(金ノミヲ用エルトモ又ハ銀ノミヲ用エルトモ)使用ス
ルハ主トスル所紙幣ノ價格ヲ測ルニアルト此二事ヲ宜シク
心中ニ記念スヘキモノトス蓋シ紙幣ハ現ニ商業取引上ノ要具
ニシテ後來モ亦之レカ要具タラカルベカラス
是カ故ニ若シ我合衆國ノ通貨トシテ使用セシカ為メニ紙幣ヲ

廢シ更ニ銀貨ヲ以テ之ニ代用セシムヲ欲スルアラハ一ヶ年ニ
數百萬ドルラレハ銀貨ヲ散布セシムカ爲メニ巨額ノ費用ヲ要ス
ヘシ然ルニ若シ銀貨主張論者ノ目的トフル所唯紙幣償却ノ爲
ナニ而已銀貨ヲ備フルノ意ナラシニハ更ニ利益ヲ生スルナ
クシテ此舉ニ付テ己ムトヲ得ス生シ來ル所ノ損失ヲ償フアタ
ハサルヘキナリ

余ハ以上開陳スル所ノ意見ヲ以テ字内各國トモ金銀ヲ本位ニ
用ヒ之ヲ諸目途ノ用ニ供用スルコトニ同盟シ各國其自由鑄造ノ
制ヲ設ケ鑄造高ニ制限ヲ立テカルコソ字内ノ商業固ニ執リ
テ得策良法ナルコトヲ説キ示セリ

曾テ尙貨幣委員ノ得タル証拠ヲ以テ之ヲ觀ルニ數年間金銀二
者ノ各年歲出高ヲ合算スレハ其各個ノ各年產出高ヨリ一層符
合ナルコトヲ証明スルニ足ルモノトス果シテ斯ノ如キカ故ニ以

上開陳セシカ如ク字内ノ商業固同盟シテ金銀ノ二者ヲ併用セ
ハ商業上ニ執リテハ只一個ヲ使用シテ得ル所ノモノヨリモ一
層變易少ナキ基礎標準ヲ備フルナラシムコトヲ決スルニ足ルナリ
且又至銀二者ノ中何レニテモ其一者ヲ廢スルキハ其残りテ使
用セラルル所ノ者ノ價格增加シ何品何物ニ限ラス各商品其皆
價格ノ下落ヲ致スモノニシテ此舉タル亦公私諸負債ノ重キヲ
加フル固ヨリ論ヲ竝ス

高亦字内一級金銀ノ二者ヲ併用セハ何レノ邦國ニ於テモ皆其
他ノ紙幣ニ執リテ其良基礎トナルヤ固ヨリ尙ニ然リ且ツ之カ
爲メニ商業取引ヲ一層安全ニナスコト獨リ其國々ノ内ニ止マラ
ス甲國乙國相互ヒノ間ニ及シ爲メニ一時正金拂ノ差止メヲ來
スボノ危險ヲ省タモノナリ
凡ソ人ニシテ諸商業ノ基礎トシ政府商會ヲ發行紙幣償却ノ要

具トシテ金銀ノ中志個ヲ使用セシメテ欲スルノ思慮アル者ハ
亦字内一般ニ金銀二者互ニ割合ヲ一定シテ金銀ヲ両ツナカ
ラシメ用シ以テ此用ニ供センコトヲ欲スベシ尙貨幣委員ノ得タル
証拠ニ依レハ政洲ニ於テハ從前ヨリモ一層復銀ノ舉ヲ可トス
ルノ~~其~~論多クキコト此一件ニ付テ万国會議ヲ開クヘキ旨ヲ我
合衆ノ政府ヨリ政洲諸政府ニ申入ルモ諸政府ノ承諾スル所
トナルヘキコト此万国會議ニテ商議ノ結局ヨリ復銀ノ舉ニ執
リテ補ヒアルヘキコトヲ証明スルヲ足レリ
然ルニ一方ヨリ視ルキハ實ニ前文ノ如ク夫レ然リト直ニ退テ
他ノ點ヨリシテ顧レハ現今我合衆國ニ於テ復銀ノ舉ヲ行ハ
銀價ノ下落甚シキニ及ヒ為メニ字内諸國ヲシテ此舉ヲ行ハサ
ラシムルニ至ラシノ恐レカリ去ラハトテ万国ニ慨議セシメテ
獨リ我合衆國而已ニテ別派ノ處置ヲ為サハ此困難ヲ減セシ

テ却テ之ヲ増加スヘキノ怖レナキヲ免レヌ
此ボノ事ハ何様ニアリトモ余ノ看ル所ニテハ銀貨ヲ貨幣トシ
テ使用スルノ舉ハ他日自他諸國ノ助勢合カテ得事充分ニ整理
セシ迄ハ忍ラヌ着手スベカラサルモトス

予ヨリダ、エス、ボウトウエ

ハラシス、ホーウエシ氏衆議ニ同意セシテ差出セシ報
告但シアール、エル、ヤブソン氏全氏ノ説ニ同意ス

尙貨幣委員中過半ノ決議ニ全意スルヲアタハサルヲ以テ余ハ
茲ニ謹シテ左ノ卑見ヲ陳シ以テ一ノ報告書ヲ呈ス

英京倫敦ニ於テ英國ノ本位銀壹千^三以^二純銀千分ノ九百二十五
ノ市價毎月昇降表ニ拠テ千八百三十年一月ヨリ千八百七十四
年一月ニ至ル迄都合四十二年ノ間ニ此本位銀ノ相場壹千以
ニ付決シテ五十八^三マシ^二半以下ニ降ラス又決シテ六十三^三マシ^二
以上ニ昇ラスシテ六拾^三マシ^二内外ノ昇降ニ止マリシヲ視
ルニ足レリ

是ニ由テ吾人ハ暫ラク當時ノ平均相場ヲ六十^三マシ^二ナリシト
定ムルハ銀ト金トノ價格ヲ金壹ニ付銀拾五ト十分ノ七ノ割

合タリシヲ知ルニ足ルナリ

但シ英國本位銀志「オン」中合ム所ノ純銀四百四拾四「ゲ」レ
「ン」ニシテ「売」ハ「ベ」レ「ン」中合蓄スル所ノ純金ハ殆ト百拾三「ゲ」
レ「ン」ナリ是ニ由テ本位銀志「オン」ニ付六拾「マン」即チ一
「リ」ニ「レ」ンノ四分ノ一中ニハ純金貳拾八「ゲ」レ「ン」ト百分ノ
二十五ヲ含ミ金銀二者ノ間ノ價格ハ金貳拾八ト百分ノ二十
五ニ付銀四百四拾四即チ金志ニ付銀拾五、七、六ノ割合ナリト
ス

千八百七十四年ニ及シテ銀價漸ク下落ノ端緒ヲ開ケリ尤モ千
八百七十五年五月ニ至ルマテハ其下落左マテ著シカラス且ツ
多少ノ昇降アリタリト雖モ此時ヨリ其下落迅速ニシテ遂ニ千
八百七十六年七月ニ至リ其相場四拾七「マン」ハ低價ニ達セリ
則チ此下落貳割尅分ニシテ金志ニ付銀貳拾ノ割合ナリトス

千八百七十六年七月以後ハ相場再ヒ騰貴シ全年十二月ニ及シ
テハ凡ソ其歳首ノ如キ高相場ニ至リタリ

夫レ斯ノ如ク金銀二者ノ相互ニハ價格上ニ於テ莫大意外ノ変
動アルハ抑モ銀價ノ昇降ニ由ルカ或ヒハ金價ノ高低ニ依ルカ
或ヒハ又金モ銀モ両ツナカウ變動アリシニ歸スルカ是レ尙貨
幣委員タル者ノ考按スヘキ第一ノ疑問ナリ

曾テ尙貨幣委員ノ得タル証拠ト去ル七月ヨリ「シ」氏ヲ經由シ
テ報告各ヲ差出セシ英國下院ノ貨幣取調委員ノ得タル証拠ト
ニ就テ精細ニ之ヲ調査點檢シ焦心苦慮ノ後チ余ヲ以テ之ヲ視
ルニ抑モ金銀二者ノ相互ニハ價格上ニ於テ斯ル莫大ノ變動ヲ
生セシハ專ラ銀價ノ下落ニ歸セサルベカラズ其故何トナレハ
凡ソ何品何物ニ限ラズ一品物ノ市價一回非常ノ昇降ヲ生スル
ハ其変更ノ事實如何カ又其変更ノ割合亦幾許カ此ボノ事ノ

赤々精細確定セサル前既ニ昇降ノ初ノニ当リ他品ニ其影響ヲ
及シ勝チノモノナレハ則チ銀價非常ノ昇降ヲ生セシカ為メニ
金銀互ヒノ價格上ニ變動ヲ生セシモノナレハナリ
廣ク宇内ノ万物ニ就テ之ヲ視ルニ凡ソ何品何物ニ限ラズ一
物ノ價格ハ則チ其物ノ購求力ナリ尚ホ詞ヲ変テ之ヲ説カハ其
物ヲ以テ他物ト交換スルノ割合ニ過キス
凡ソ何時ニテモ金貨而已ヲ以テ單本位トナス時ニハ諸物品ノ
平均相場ナル者ヲ以テ金貨ノ平均相場ヲ充分精密ニ表示スル
ニ足ルモノナリ尤モ諸物品ノ相場タル其品其物ニ限リテ時宜
ニ依リ變動ヲ生スル特別ノ原因アルモノハ暫ラク論セスシテ
唯大体ノ平均相場ニ就テ云フ而已
斯ク諸物品ノ平均相場ハ唯ニ金貨ノ平均相場ヲ表示スルノ名
アル而已ナラス実ニ諸物價ノ平均相場タル則チ金貨ノ平均相

場ヨリ外ナラサルナリ
若シ軌道貨幣市場ニ於テ騷擾ヲ發セシメナク又時ニ原因ノ在
ルアリテ諸商業ノ善子ノ衰頽ヲ極ムルノメナカラシムルハ諸物
價ノ下落ハ則チ金價ノ騰貴ヲ表示スルモノナリ然ルニ若シ之
レニ反シテ投機商ノ在ルアリテ一時案外ニ市場ヲ動カシ其勢
カヲ加フルノメナクハ諸物價ノ騰貴ハ則チ金價ノ下落ヨリ
外ナラサルナリ
是カ故ニ千八百七十六年七月以前十四ヶ月間ニ倫敦ニ於テ銀
價非常ノ下落ヲ生セント雖モ其市場ニ於テ決シテ諸物品ノ下
落ヲ見サリシナリ
是ニ依テ千八百七十六年七月於テハ倫敦ニテモ新約克ニテモ
一ノムスノ本位銀ヲ以テ其以前十四ヶ月間ニ之ヲ以テ購買シ
得タル丈ノ巨額ノ諸物品ヲ買得シアタハサリタルナラシ蓋シ

其前十四ヶ月間ニ在テハ「オン」ノ本位銀ヲ以テ當時ヨリ凡
ソ尓割七分程巨多ノ諸物品ヲ購買シ得タルナリ
斯ク非常ニ銀貨下落セリト雖モ尚ホ金價ハ依然トシテ更ニ騰
貴セス當時本位金尓「オン」ヲ以テ千八百七十五年九月諸物品
ヲ購買シ得シヨリハ多クヲ買得シアタハサリシナリ尤モ諸物
品ノ中獨リ銀ヲ除クモノトス
蓋シ諸物價共右ノ十四ヶ月間ニ稍々下落セシ「ア」リシト雖モ
又タ其後ニ至リテ直チニ甚烈ノ騰貴ヲモ生セス詰リ全年十二
月ニ至リ其旧價ニ復シテ已ミシ而已
斯ノ如ク論及シ銀價下落ノ形状ヲ詳ニセハ蓋シ銀價ノ變動々
ル全ク孤立ノ頭像ニシテ仮令ヒ銀價ニ何ボノ昇降アルモ之カ
為メニ何ボノ影響ヲモ諸商業上ニ波及スル「ア」ナキヤ明了ナリ
若シ吾人ヲシテ金銀二者ニ就キ相互ヒノ需用供給上ニ變動ヲ

生スル事情ニ論及セシ「ハ」吾人モ更ニ異論ナク尓貨幣委員ト
同決議ニ至ラン
既往二十五ヶ年ノ間ニ諸礦山其外ヨリ毎年全ク産出セシ高ハ
其需用ヨリモ非常ノ過多ニシテ仮令ヒ徐々ナリト云フト雖モ
金價頻リニ下落ノ勢ニ墜リ尓今ニ至ルモ未ダ此下落止マサル
ノ色ヲ示スニ至レリ
凡ソ一家族タル者ノ活路ヲ繫キ之ヲ維持スル為メニ要用ナル
諸雜費ハ千八百九十一年以來絶ヘス増加セシ「ア」常人ノ容易ニ
賄易キ所タリ且ツ當時會々金價ヲ以テ計算セシ諸物品ノ價格
ハ「欧」米ノ兩洲ニ於テ非常ニ騰貴ヲ生セリ
斯ノ如ク金價下落シテ諸物價騰貴セシ「カ」故ニ蓋シ今日在リテ
ハ凡ソ何人タリトモ諸物價ノ價格ヲシテ彼「カ」リ「フ」アルニ「ヤ」
及ヒ「オ」ト「ス」トラリ「ヤ」州ノ金山發見以前曾テ諸物價ノ占メタル

位置ニ復旧セシムルヲ期スルモノ之ナカルベシ
今暫ラク年内ノ金産出高毎年ノ総額ヲ視ルニ千八百四十九年
ノ産出高ハ大約貳千七百万ドルナルナリシカ千八百五十年ヨ
リ五十四年迄五ヶ年ノ産出高ハ平均志億五百万ドルニシ
テ夫レヨリ千八百五十九年マテ五ヶ年ノ産出高ハ平均志億三
千六百万ドルラシク多クキニ登レリ
但シ以上ノ産出高ハ曾テ英國議院ゴスチン氏ヨリ出シタル
銀價下落淵源報告會中ニ引用スル所ノ「ウ」氏ニ「ウ」
マ「ウ」氏著述ノ諸物價史ニ倫敦「ウ」コノミス「ウ」新聞ニ「ウ」
夫レ斯ノ如ク金ノ供給莫大ノ増加ヲ生シ其結果如何ナリシヤ
請フ之ヲ説カン倫敦「ウ」コノミス「ウ」新聞中ノ物價表及「ウ」其他ニ
就テ博士「ウ」ボン「ウ」氏金價下落論ナル一書ヲ著述シ千八百六十三
年之ヲ上梓セシカ「ウ」氏ハ此各ヲ以テ「ウ」今日文明世界ニ於テ

人生足りバカラサル日用諸品ト唱フヘキ商品三十九種ノ物價
月表ヲ編輯シ以テ千八百四十五年ヨリ千八百六十二年ニ至ル
マテ滿十八年ノ間ニ就キ此各品ノ毎年平均價ヲ定メリ
博士「ウ」ボン「ウ」氏ハ斯ク三十九種ノ諸高品中各品ニ就キ其毎年
價格ノ平均ヲ執リ以テ此各諸物價ノ騰貴左ノ如クナルヲ「ウ」証
セリ云ク千八百四十五年ヨリ千八百五十年ニ至ルマテノ間ト
千八百六十年ヨリ千八百六十二年ニ至ルマテノ間ニ此各諸物
價ノ騰貴セシ平均百ヨリ百拾六十分ノ二ニ至ル割合ニシテ
則チ金價ノ下落セシ平均百ヨリ八十六ニ至ルノ割合即チ志割四
分ハ下落ナリト「ウ」氏ハ以上三十九種ノ日用諸品ニ就テ斯ク價
格ヲ定メ然ル後使用向一層減少ナル七十九種ノ諸小品ニ論及
セリ蓋シ此各諸品ハ重モニ奢侈用ノ物ナルカ故ニ徒ラニ價格
ヲ騰貴セハ其消費随テ減少スルヲ以テ右ノ三十九種ニ比スレ

ハ一層徐々ト騰貴スルモノニ係ルナリ
右七十九種ノ外ニ高ホ同氏ハ百十八種ノ物品ニ就キ其價格騰
貴ノ平均ヲ右同時代ノ年間ニ比較セシニ其騰貴百ヨリ百十百
十百分ノ二十五之割合シテ則チ金價ノ下落セシテ百ヨリ九折
百分ノ七十一之割合即チ大約九分ト三分ノ一之下落ナリシ
斯ク金價ノ下落ヲ以テ大約九分ト三分ノ一ト論セシカ又同氏
ノ云ク結局其下落ノ最モ低キ度ハ九分ナリ若シ余カ著ス所ノ
下落論ヲ説ム者余ト説ヲ同クシ此割合ニ付テ異説ナクハ是
レ實ニ余ノ満足トスル所ナリ尤モ余カ持論ニ依レハ此下落ノ
割合タル殆ト志割五分ニ近キニアリト
千八百六十二年以來此金價ノ下落既ニ止ミ更ニ昇降ナカリシ
トヲ信スルニ足ルノ理アルカ余ヲ以テ之ヲ視ルニ之ヲ信スル
ノ理由ナシトス

千八百五十九年ヨリ千八百七十四年ニ至ルマテ都合十五ケ年
ヲ三分シテ五ケ年トナシ毎五ケ年ニ就テ金ノ産出高ヲ視
ルニ毎五ケ年間に全世界中ノ毎年金産出高ノ平均ヲ計算スル
ニ第一期ハ志億貳百万ドルニ此第二期ハ志億三百万ドルニ
第三期ハ志億四百万ドルニ此ナリ
ゴスチニ此ノ銀價下落源報告ニ依レハ同氏ハ千八百七十
五年ノ金産出高ヲ志億百万ドルニ此ト定メリ
以上ノ金産出高ニ依レハ金價ノ下落止ミシテヲ仮想セシムル
ニ足ルモノ更ニ之ナク實ニ當時ニ在リテハ其下落ヲ変シテ騰
貴ト為シ得サリシヤ必セリ
又金産出高ニ就テ細論スレハ千八百四十九年ヨリ千八百六十
二年ニ至ル迄都合十四ケ年間に全世界中金在高ノ外ニ英債三
億一千万ポンド有餘ノ增高アリ千八百六十二年ヨリ千八百七

十五年ノ至近十三ヶ年間は尚ホ此至ノ外ハ英貨貳億六千三百
万ポンドノ多クキチ加ヘリ是ニ由テ之ヲ觀レハ吾人ハ既往數
十年ノ間金價ノ騰貴ハ實ニ得難キモノタリシトテ利決スルニ
足ルモノトス

蓋シ金價ノ下落ハ極メテ緩々存々タルモノニシテ多年經過ノ
後金價ノ結局ヲ見ルニアラサレハ其如何ヲ看破スルニ難キモ
ノナリシト雖此之ニ及レテ銀價ノ下落ハ事突然ニ出ル而已ナ
ラズ尚ホ且ツ其變動頗フル大且ツ速ナリ

前文既ニ開陳セシカ如ク銀價ノ下落ハ二ヶ年ヲ待スレテ其微
ヲ顯ハシ此間ニ於テ其下落ノ甚シキ既ニ貳割ニ及ヘリ
蓋シ銀價下落ノ淵源ヲ看出スハ容易ノ事ナレハ今試ミニ其一
ニヲ左ニ擧ン

夫レ我合衆国内ニ於テ重モニ銀礦ノ発明アリテ迅速ニ開鑿
セシヨリシテ銀ノ供給ノ莫大意外ノ増加ヲ致セリ然ルニ其需
用ハ増加セステ却テ直チニ非常ノ減少ヲ生セリ

斯ク銀ノ供給莫大意外ノ増加アリタルニ其需用ニ至テハ却テ
非常ノ減少ヲ生セシ故ニ此ボノ二淵源相聯合シテ大ヒニ人心
ノ洶々ヲ生シ人々ヲシテ不安ノ心ヲ懷カシメ為メニ歐洲ノ諸
政府ハ當時ニ在リテ思ヒテ銀價ノ下落大且速ナラスンハア
ルベカラサルノ色アルカ故ニ成ルヘク之ケ速カニ其銀ヲ除却
シ銀貨ヲ廢止シ以テ其國ノ價格ノ本位ヲ維持保存セントニ汲
々タリシ

歐洲諸國ノ政府輕率スル処置ヲ施セシヨリシテ無論他國ノ為
メニ弊害ヲ増加セシ而已ニシテ他國ハ此弊害ヲ防キ以テ己レ
ヲ守護スルノ策ヲ用ヒシニ過キカリシナリ

當時日耳曼國ニ於テ最早其通貨トシテ使用セカリシ所ノ銀ト

羅甸貨幣聯邦ニテ増鑄ノ為メニ要用トセサル銀ハ皆之ヲ貨幣市場ニ投出シ貨幣市場ハ突然巨額ノ銀ヲ以テ充滿セシカ為メ其項既ニ免レ難キノ勢ニ至リタル銀價ノ下落ヲ愈々増加シ益々其下落ヲ促スニ至レリ

蓋シ今日我「コムストツ」銀礦ノ形状ハ皆モ千六百年代ニ當リ曾テ巨額ノ銀ヲ産出セシ「ポトシ」銀礦ノ形状ト同一ナリ尤モ其影響ハ今日ヨリ一層速カニ徴ヲ表セシナリ

曾テ千六百年代ノ後半期ニ當リ米國ヨリ産出スル金銀ノ供給莫大ノ増加ヲ致セシハ重モ「ポトシ」礦(南亞米利加ノ一地)ノ發明ニ帰スルモノタリ但シ此「ポトシ」礦ノ規律ヲ設ケ法方ヲ布キ以テ初メテ開鑿ノ業ニ着手セシハ千九百四十五年ノ「ナリキ」

曾テ有名ナル日耳曼ノ理學者「ホルホル」氏ノ言ニ就テ吾人カ

探究スル所ニ依レハ千九百四十九年以前米國ヨリ産出セシ金銀二者ノ毎年産出高ハ只僅カニ大約三百万ドルラニ止マリシ而已

然ルニ「ポトシ」礦ノ産出ハ千六百年以前殆ト此産出額ニ四倍シ志千百万ドルラニ多クキニ及セタリ蓋シ遠然斯ク巨額ノ銀ヲ産出セシカ故ニ僅々二十五ヶ年以内ニ在リテ銀價ノ下落セシ「其昔日ノ價格ノ大約三分ノ一ニ減セリ今試ニ例ヲ引テ之ヲ証センニ千九百七十年以前ニ在リテハ中等小麦売「ケオル」ト此(即テ「ハ」)之價格ニ就テ數ヶ年ノ平均ヲ視ルニ売「ケオル」ト此ノ相場純銀大約二「オン」ニテ英國ニ於テ販賣スル所トナレリ然ルニ千六百年頃ニ至リテハ小麦売「ケオル」ト此ノ相場六「オン」以上ニ出ツルニ及セタリ此相場タル當時ヨリ今日ニ至ルマテ依然トシテ高低ナシ尤モ右ノ相場ハ小麦ノ秋收殊

ニ良作ナル時ト其殊ニ惡作ナル時トテ差引キ數ケ年ノ平均ヲ
取リテ算セシモノナリ

當時ヨリ大約三百年間モ經過セシ今日ニ遷リ現ニ我ヨムスト
ツク礦ノ産出ヨリ生セシ影響ニ論及セン

「子バ」銀鏡ノ産出ハ千八百六十一年初メテ巨額ニ至リ我造幣
寮首長「トクトル」リンデルマン氏ノ説ニ依レハ其産出セシ銀ハ
大約貳百万「ドル」ラナリ

尔来千八百六十四年ニ至ルマテ其産出額速ニ増加シ同年我合
衆国内ニ於テ産出セシ銀ノ額ハ全氏ノ説ニ從ハハ大約志千百
万「ドル」ラルノ多クキニ及ホセリ

年々歲々其産出増加シテ千八百七十年ニ至リテハ毎年ノ産出
高尙千六百万「ドル」ニ及ヒ其後モ迅速増額シ終ニ千八百七
十五年ニ及テハ三千貳百万「ドル」ラルノ巨額ニ上レリ既ニ昨年

ノ産出額ノ如キハ蓋シ四千万「ドル」ラルニ垂ントセリ

以上我合衆国内ヨリ産出セシ所ノモノト其他全世界中諸所ヨ
リ産出ノ高トテ合算スレハ千八百六十一年ニ至ルマテ前後大
約十ヶ年間ニ毎年産出セシ銀額ハ四千万「ドル」ラル以上ツ、ニ
シテ決シテ之ヨリ多寡ナカリシ「ト」ヲ視ルニ足リ全年ヨリ千八
百七十五年ニ至ルマテ其額速ニ増加シ全年ニハ既ニ右ノ四千
万「ドル」ラルニ二倍シ殆ント八千万「ドル」ラルノ多クキニ及ホセ
リ

假令ヒ銀産出額ノ増加夫レ斯ノ如ク巨額ナルト虽モ何程此増
加甚シキモ之カ為メ而已ニテハ將來兩三ヶ年以内ニ左マテ市
場ニ大害ヲ波及セサルベシ其故何トナレハ蓋シ金銀二者ノ價
格上ニ變動ヲ生スルハ實ニ非常ニ稀々タル「ト」中ノ八九ニ居
ルヲ以テ全世界中ノ諸物價ヲ平均セシムルニハ永遠ノ時日ヲ

要セサルヲ得サルヲ以テナリ

斯ク諸物價平均ニ至ルマテ永遠ノ時日ヲ経ル間ニ巨額ノ銀ハ
恰モ是迄ノ如ク彼所此所ニ轉傳シ甲ヨリ乙ニ遷リ乙ヨリ丙ニ
傳ハル而已ナラス最良ノ市場ヲ求メシカ為メニ全世界中ニ周
遊漂泊スルモノナリ

然レ此此変ノ如キハ銀ノ供給最モ迅速ノ増加ヲ致セシニ次テ
又英領印度ヘ向ケ輸出スル為メ銀ヲ需求スルノ不意ニ減少シ
供給ノ増加ト需用ノ減少トヲ同時ニ持来セリ

既ニ千八百六十二年ヨリ千八百六十六年ニ至ルマテ四ヶ年ノ
間ニ印度ヨリ綿ヲ輸出セシテ巨額ニ至リ其代價ヲ拂フニハ巨
額ノ銀貨ヲ彼地ニ回送シテ之ニ充テ其銀貨タル今該國ノ通貨
ナルモノナリ

右四ヶ年ノ間ニ印度ニテ銀貨ヲ吸入セシテ貳億七千万ドルヲ
此ノ巨額ニ及ビタリ是レ印度ニ於テ銀貨ノ輸出ヨリ輸入ノ過
多ナルモノナリ

我南北戦争鎮定ノ後我米國産ノ綿再ヒ市場ニ出ル所トナリテ
ヤ印度ノ綿速カニ下落セシハ固ヨリ論ヲ疑ス實ニ此時ヨリ最
早印度ノ輸出スル所ノ綿巨額ニ至ラス随ツテ印度ニテ銀貨ヲ
吸入スルノ止ミタリ

斯ク一時吸入ノ止ミタリト雖モ又更ニ一原因ノ生スルアリ
テ為メニ此銀貨ノ吸入ヲ即時ニ抑制セシメサルニ至レリ何ソ
ヤ云ク當時會マ印度ニ鐵路ヲ開キ運河ヲ掘リ其他巨費ヲ要ス
ル諸工業ノ築造ヲ助ケンカ為メニ英國ヨリ巨額ノ資本ヲ該地
ニ輸送セリ

此ボノ工業費ニ供セシカ為メニ送金スルヨリシテ更ニ後期四
ヶ年ノ間銀貨ノ輸出ヨリ輸入ノ多キ毎年平均三千九百万ドル

ラ此ツ、ニ至レリ

古四ヶ年満期ノ末ニ至リ此ボノ諸工業皆竣功ニ及ヒ最早工業
費ノ為ニ資本金ヲ要スルヲナケレハ銀貨ノ吸入當ニ止ミシ而
已ナラス却テ該地ヨリ之ヲ輸送スルニ至レリ

當時印度ハ英國ヨリ資本ノ供給ヲ得英國ニ債ヲ負ヒ今尚其
巨額ノ負債依然トシテ相存スルアリ蓋シ今印度ヨリ利子拂渡
ノ為メト分配金配當ノ為メニ英國ニ回送スル所ノモノ極メテ
巨額ニシテ實ニ印度ニテハ仮令ヒ幾百ノ輸出ヲ英國ニ為スモ
之ニ代フルニ若クハ商品ヲ以テシ若シクハ銀貨ヲ以テスルヲ
殆ト稀ナル程ニ至レリ其影響如何ト云ハ、千八百七十一年ヨ
リ千八百七十二年ニ涉リテ印度ハ輸送スル為メ銀貨ヲ需求ス
ルヲ不意ニ減少シ五百万ドルヲ以テ下レリ
尤モ此需求ノ高ハ翌年ニ至リ稍々挽回セシト雖モ千八百七十

五年以前既往四ヶ年ノ間ニ就テ需求高ノ平均ヲ取レハ年々僅
ニ億千万内外ニ止リシ而已然ルニ我南北戦争中四ヶ年ノ間ニ
毎年平均六千七百万ドルヲ至リ該戰鎮定後四ヶ年ノ間ニ
ハ毎年平均三千五百万ドルヲ此ノ高ニ達セリ

蓋シ印度ニテ英國ヨリ借受ケタル負債ハ將未數ヶ年間ニ容易
ニ減少スヘキ模様アラサルカ故ニ今世人ノ在命中ニ印度ノ勢
ト旧ニ復シ昔日ノ如ク巨額ノ銀貨ヲ印度ニ吸入スルニ至ルヲ
ヲ期スベカラス

既往十五ヶ年以内ノ需用供給ノ全局ニ就テ之ヲ視ルニ世界中
ヨリ毎年産出スル銀ノ外ニ尚ホ我「ゴムストツ」礦ハ大約四千
万ドルヲ出ツ、ノ産出ヲ為セリ然ルニ印度ハ輸出スル為メ之
ヲ需用スルヲ減シテ平均殆ント右ノ同額ニ至レリ
是ニ由テ之ヲ觀レハ銀價ノ下落タル曾テ吾人カ目撃セン如ク

大蔵省

事不意ニ出テ巨大ニ及ホサ、ルヲ得サリシヲ一人トシテ恠
シムモ勿ルベシ又欧州中重立チタル国々ハ成ルベク夫ケ速カ
ニ其所持セル巨額ノ銀ヲ投擲シ銀貨ヲ廢シ更ニ金貨ヲ代用シ
テ以テ其價格ノ本位トナサントニ汲々タラサルヲ得サリシヲ
ヲ驚愕スル者之レナカルヘキナリ

余カ看ル所ニ拠レハ我合衆國ニ於テモ天張リ政制ノ轍ヲ踐ミ
彼レノ例ニ倣フテ處置ヲ施スヲ以テ策ノ得タルモノトス
蓋シ英國ノ如キハ未タ曾テ其處置其政略ヲ變更スヘキ機會ヲ
得タルヲナシ之ヨリ前キ六十年以前ニ同國ニ於テハ其単本
位トシテ金貨ヲ採用シ以テ銀貨ヲ廢セリ尔來銀貨ハ專ハラ補
助貨幣ノ用ニ供スル所トナリ僅カニ一日四拾シリング以下
ノ合法貨幣トナレリ英國ニ於テハ銀貨ヲ使用スル斯ク僅カニ
小貨幣ノ用ニ供スルニ止マリ流通ノ銀額嚴ニ制限ノ在ルアリ

且ツ最初ヨリ大約六分方モ故意ニ法律上ノ價格ヲ張ラシメタ
ルヨリシテ反令ニ市場ニ於テ銀價ノ下落如何ナルモ之ヲ補助
貨幣トシテ使用スルヲ付テ何ボノ害ヲ來スヲナシ
斯ノ如ク市場ヨリ法律上ノ價格六分方モ貴キカ故ニ外國ノ銀
貨國內ニ流入シテ流通スルヲアルトモ其地金相場ヲ以テ量目
ニテ販賣セラル、而已

今日英國ノ金貨タル至世界中ノ諸市場ニ於テ自他何レノ貨幣
ヨリモ一層普子ク其全價ヲ以テ接受セラレ尚ホ且ツ萬國一般
ニ其輸出入ノ差ヲ清算スルニ當リテ皆之ヲ使用スルハ是レ畢
竟同國ニ於テ金ノ單本位ヲ專用スルニ由ルナリ
日耳曼國ニ於テハ此英國法制ノ便益ヲ得且ツ銀價下落ノ為メ
ニ其國ノ通貨ニ及ホサントスル所ノ大損失ヲ避ケンカ為メニ
早クモ千八百七十一年十二月法令ヲ布キ以テ其銀貨ヲ本位ト

スルヲテ廢セリ

爰ニ於テ日耳曼國ニ於テハマルク貨ヲ以テ其價格ノ本位ト定メ貳指マルク及ヒ指マルクナル兩種ノ金貨ヲ發行シ以テ合法貨幣トナセリ

抑モ此貳指マルクノ金貨ノ價格タル英金ノペレシノ價ヨリ僅カニ五マルクニ少ナク又佛貨貳指五フランノ價ヨリ三マルクニ少カリシヲ以テ之ヲ此ボ英佛ノ金貨幣ト容場ニ交換スルヲ得ルナリ

尚又日耳曼國ニ於テハ銀貨幣引上ケノ令ヲ發シ大種ノ銀貨幣ヲ鑄造スルヲ停止セリ

爾來千八百七十三年七月又一令ヲ發シ以テ既ニ是迄日耳曼聯邦各州ニ流通セシ諸貨幣ヲ廢シ更ニ之ニ代用スルニ此帝國鑄造ノ金貨ヲ以テシ且ツ補助銀貨ヲ設ケタリ但シ此補助銀貨ハ

其價格ノ貨幣面ニ記載スル所ヨリ少ナカリシヲ毫割毫分以上ノ割合ヲ以テ鑄造セシモノニシテ一口貳指マルク以下ノ合法貨幣ト定リタルナリ

然ルニ古ノ補助銀貨ノ鑄造巨額ニ過キ為メニ不便ヲ生センヲ恐レ之ヲ防クカ為メニ多少ニ限ラス此補助銀貨ヲ日耳曼帝國ノ出納局ハ固ヨリ其各別ノ出納局ニ於テモ受納スル所ニ定リタリ

此際徐々ト旧銀貨ヲ引上ケ毫割ノレ此貨ノ如キハ既ニ去ル七月迄多少通用セリ又是迄發行ノ諸銀行紙幣ニシテ日耳曼帝國ノ金貨幣ヲ以テ引換ユ一キ性質ニアラサルモノハ残ラズ引上ル所トナリ向後ハ毫百マルク(即チ大約英貨五ポンドニ當ル)ヨリ小額ノ紙幣ハ流通セシムルヲ能ハスシテ尚ホ且ツ右金額以下ノ紙幣ヲ發行スルヲ停止セリ

是レ日耳曼政府カ殊更ニ此法令ヲ設ルノ大要ナリ如何トナレ
ハ此法令發行以前ニ在リテハ下モ志「ターレ」ルノ小額ニ至ル迄
ノ銀行紙幣ヲ發行シ来リシニ志百「マルク」以下ノ諸紙幣ヲ悉ク
引上クルヲ以テ小取引上ニ於テ正金ヲ使用スルヲ大ニ増加
セシムルハアルベカラカレハナリ
以上ニ述ヘシ所ノ諸法令ニ依リ日耳曼國ニテ去六月迄新金貨
ヲ鑄造セシ高英貨七千万「ポンド」ニ及ホセリ
又引上ケタル旧銀貨ニシテ未タ新銀貨ヲ以テ之ニ代用セサル
ノモノ、中去四月二十日迄ニ販賣セシ高僅カニ英貨六百万「ポ
ンド」内外ニ止マリシ而已是ニ由テ之ヲ觀レハ此販賣高ハ同月
以前ニ在リテ銀價ノ下落上ニ左程直接ノ影響ヲ波及セシムル
ニハ餘リ小額ナリキ
又令ニ日耳曼ノ識者輩ハ同國ニアル銀ノ額幾許ナルヤ其精算

ヲ得ルハ難シト云フト虫氏尚ホ他日落解シテ販賣セント欲ス
ル銀ノ残額ハ一層許多ナラン
其他歐洲諸國中低價ノ紙幣ヲ現ニ使用スル國ヲ除クノ外ハ大
概皆補助貨幣ノ用ニ供スル外ハ更ニ銀貨ヲ鑄造セス且ツ其流
通額ニ制限ヲ設ケテ以テ此日耳曼ノ例ヲ學ヘリ
尤モ此一舉ニ付テハ日耳曼國程深ク手出シヲ為セシ所ハ一國
モ之ナク壺自他諸國ニ於テハ當時下落セシ銀貨流入シテ其金
貨ヲ流通外ニ逐出シ随ツテ其價格ノ本位ヲ下落セシムルヲ
防クニ足ル丈ノ処置ヲ施シ而已ナリシ丁抹那威及ヒ瑞典國
ノ如キハ真ニ千八百七十二年ニ涉リテ金本位ヲ採用シ以テ尔
来大ニ金ヲ國內ニ輸入シ銀貨ヲ販賣セシ「七」億千万「ドル」也
以上ニ及ホセリ
荷蘭國ノ如キハ早クモ既ニ千八百七十二年十月其造幣條例變

更ノ目論見アリシト雖モ暫ク不定ノ処置ヲ施セリ然レモ終
ニ千八百七十五年六月ニ至リ該國ノ議院ヨリ條例ヲ発シ以テ
多少ニ限ラズ銀貨ヲ鑄造スルヲ禁シ以テ金貨ノ鑄造ヲ許允
セリ
此造幣條例ニ依テ拾ブロリシノ金貨幣ヲ鑄造シ尔来九ヶ月間
ニ金貨五千六百万ブロリシノ額發行スル所トナリ依テ同額ノ
銀貨幣ヲ引上ケ以テ此金貨ト交換セリ
所謂羅甸貨幣聯邦ナル佛國其他ノ諸國(白耳義)スウエツルラン
ド伊太利及ヒ希臘ハ唯狭少ノ制限ヲ立テ以テ銀貨ノ鑄造ヲ許
ルシ以テ吾人ノ待受ケタル處置ヲ施セリ尤モ輓近佛國ノ大藏
卿ハ一切五ブランクノ銀貨ヲ發行スルヲ禁止スヘキ權ヲ同
卿ニ付與アラシメテ建議セリト云フ
佛國ハ第一ニハ我南北戦争ノ間英領印度ヨリ綿ヲ買入レシト

第二ニハ日耳曼債金ノ拂渡シトニ依テ既ニ殆ント皆其銀貨國
外ニ流出セシカ更ニ復タ其流出ノ銀悉ク国内ニ流入スル所ト
ナレリ是レ苟モ殊實ニ法制ヲ布キ法令ノ力ヲ藉リタルニアラ
ス嚮キニ巨額ノ銀貨ヲ輸出セシ時ニ与リ一時代用セシ紙幣ヲ
減少セシ而已ニシテ全ク貿易上ニ於テ天理ノ然ラシムル所ニ
於ルナリ
蓋シ佛國ノ如キハ專ラ金本位ヲ採用スルノ議ヲ容易ニ可トセ
サルベシ其故何トナレハ一朝金本位ヲ用ユルヤハ突然其巨額
ノ銀貨ヲ市場ニ投出スルヲ以テ為メニ銀價ノ下落ヲ生スヘキ
ノ怖レアルノミナラス尚ホ且ツ其場合ニ於テハ更ニ金貨ヲ以
テ之ニ代用スルノ費用極メテ巨額ナルヲ以テナリ
前文既ニ開陳セシカ加ク斯ク改則ノ諸政府ニテ稍々廢銀ノ舉
ニ着手セシヨリシテ銀價ノ下落ヲ増加スル道ニ様アリ第一ハ

大藏省

既ニ地金充滿ノ市場ニ巨額ノ銀貨ヲ投出シ蒙ニハ銀貨流通ノ制限ヲ縮メ為メニ其需用ヲ減少セシメ是レナリ然ト雖長銀價ノ下落タル其根源ハ政州諸政府カ造幣ノ下付テ為セシ舉動ヨリ成リシモノニシテ全ク政州諸政府カ採用セシ処置ニ歸スルト仮定セハ其原因ト結果トノ關係ヲ或ヒハ顛例スルアラシ

銀價下落ノ淵原如何ト云ハ、寧ロ其價格既ニ下落シ随テ尚ホ一層下落セント、怖レヲ生セシヨリシテ政州諸政府不意ニ廢銀ノ企ヲ起セリ否ラサレハ何ソ此廢銀ノ舉ニ付テ諸政府ノ處置殆ト同轍ニ出テ今日ノ如キ處置ヲナスノ理アラシヤ若シ當時政州諸政府ノ未タ銀貨ヲ所持スルニ當リテ其價格迅速下落スルノ下付諸政府ノ知ラガリシ所ナラシニハ何故諸政府トモ僅々短小ノ時月中ニ其銀貨ヲ除却セシメテ汲々タラサルヲ

得サリシカノ理由ヲ知ルニ由ナキナリ吾人ハ之ヨリ論鋒ヲ轉シテ較近金銀二者ノ相互セノ價格上ニ變動ヲ生セシ所ノ原因ハ永久不易ノモノナルカ否ラサルカニ付テ考按セントス然ルニ此疑問ハ暫ラク將來ノ狀況如何ヲ視カレハ現今確答ヲナスヲ得サルモノタリ是ニ依テ吾人ハ直ニ將來六七八年ノ間ニ其影響ヲ波及セントスルノ色アル處ニ就テ概要ヲ定メ得ル而已然レモ若シ尙ホ一歩ヲ進メ深ク此事ヲ目視シ一層精確ノ結局如何ナランカヲ看破セント欲スルキハ會マカリフオルニヤ及ヒテオーストラリアノ金山發明若シクハコムストツク銀礦發見ノ如キ臨時意外ノ事件アリ其影響鮮少ナラサルヨリシテ却テ吾人ノ概算スル所ノモノヲシテ其実ヲ失ハシムルノ怖アリ凡ソ人間タル者ノ勤業中金銀礦開鑿ノ事業ヲ以テ最モ浮沈不

定ノモノトナス

夫レ我合衆國ノ通貨ノ狀況如何ト我價格ノ本位ノ保存如何ニ依リ常ニ盛衰ヲ生スル所ノ諸勤業其他ノ大事業上ニ影響ヲ及スヘキ法制ヲ設ルニ當リ徒ニ巨額ノ株ヲ有スル輩カ己ノ利害得失ヲ料リテ製出セシ所ノ所見及ヒ此輩ノ為セシ價格見積ホニ於テ事ヲ為スルハ決シテ安スキヲ保ツアタハス却テ較近我合衆國ノ造幣寮首長亮ニ博士「アール、イ、ロージル」氏其他有名卓見ノ諸地質學者礦物學士、礦山測量師輩ノ實地検査セシ所ニ於レハ我「コムストウ」礦ニ於テ既ニ稍々吾人ノ眼目ニ觸レ我人ノ算測セシ銀鑲ノ量額ハ尙ホ將來兩三ヶ年間ハ平均少ナクトモ現今ノ產出高ト同等ニ至ルニ足ルヤ疑ヲ容レス然ラハ則テ銀ノ供給現今速カニ減少スル「アール」バカラス又銀ヲ以テ器物ヲ製作スルカ或ハ之ヲ以テ貨幣ヲ鑄造スルカ或ハ

之ヲ以テ貨幣ヲ鑄造スルカ或ハ之ヲ亞細亞洲ニ輸出スルカ免ニ銀ヲ求需スル「五ヶ年」以前ノ如ク後來ノ「五ヶ年」以内ニモ再ヒ廣大ニ至ルヘキ「七ヶ年」ヲ表示スル、此候ハ更ニ余輩ノ眼鑿ニ入ラサル所ナリ

却テ銀ノ求需、減少ヲ証明スヘキ徵候タルハ往々世上ニ散見スル所ニシテ純銀ノ多量ヲ含物（三價）ハ現今既ニ幾干カ銀減全ノ肉匙、汁匙及ヒ裝飾物オニ其地ヲ讓ルニ及ヒタル「一」是ナリ夫レ英吉利、日耳曼、丁抹、瑞典及ヒ那威オ、諸國カ補助貨幣トシテ頗ル少シク銀貨ヲ用ユル「アール」ニモセヨ誰カ今既ニ以上ノ諸國カ実行シタル廢銀ノ令ヲ速カニ取消シ以テ再ヒ銀貨ヲ通貨ニ濫用スル「アール」ト期望スル「アール」ヲ得ンヤ果シテ廢銀ノ令ヲ取消ス「アール」ナク銀貨ヲ濫用セサル上ハ獨リ英吉利ノミヲ除キテ以上ノ諸國ハ悉皆數年ノ間銀ノ購求者ニ非ラヌシテ即チ之

大藏省

カ販賣者ヲラスンハアルハカラス
且ツ既ニ前文ニ開陳セシ事實ヲ以テ之レヲ看レハ仙蘭西、荷蘭
及ヒ白耳義ノ三國ハ既ニ銀貨ノ鑄造ヲ差止メ稍々廢銀ノ舉ニ
着手スル所アルカ故ニ連カニ又一步ヲ進メテ日耳曼ノ如ク全
ク銀貨ヲ廢棄スルニ至ルヘキハ大ニ期スヘキナリ尤モ近報
ニ依レハ白耳義國ハ業已ニ廢銀ノ舉ヲ実行セリ又英領印土モ
支那モ兩國共ニ歐羅巴ヨリ自國ニ輸入スル物品ヨリモ自國ヨ
リ歐羅巴ニ輸出スル物品莫大ニ増加シ以テ再ヒ往時ノ如ク歐
羅巴ノ銀貨ヲ吸飯シ尽スヘキ程ノ非常ナル困力ヲ今連カニ得
ルヲアルヘシトハ如何シテモ余輩ノ思考シ能ハサル所ノモノ
ナリ
輓近貨幣市場ノ騷擾ニ由テ本位銀ノ價格一ノシニ付五十ノ
ンニ以下ニ下落セシテアリ故ニ此ノ如キ騷擾ノ反動ニ由テ銀

價大ニ騰貴スルモ亦タ測ルベカラス然レモ到底字内ノ諸市場
ニ於テ投機商賣又ハ騷擾ニ由テ生スル所ノ價格ノ昇降騰下ハ
決シテ永續スヘキモノニ非ラヌシテ暫時ニシテ止ミ其及フ所
ノ地モ亦タ極メテ制限アリ故ニ銀價ハ再ヒ千八百七十六年ノ
七月中ノ如ク甚シク下落ノ点ニ降ルヲアラサルベシ然レモ又
其千八百七十年ニ占メ得タル價位ヲ今日連カニ回復シテ恒久
之ヲ保續スヘシト期望スルハ其當ヲ得サルノ説ト云フベシ
尙貨幣委員ニ下問セラレシ次項ノ質疑ハ我合衆國ニ於テ金銀
兩本位ヲ採用スルノ可否ト復用ノ上ハ金銀ナル二者ノ間ハ法
律上ノ價位ハ如何ノ割合ニシテ正當ナルヤニ係ル
凡ソ何物品ニ限ラス其價格ハ第一ニハ之ヲ製作スル費用ニ依
リ第二ニハ其供給ト其需求トノ釣合ニ依リテ定マルモノナリ
而シテ其製作ノ費用タル恒ニ變動シテ定位アルヲナク又其供

給ト需求ト、釣合タル非常ニ変シ易キモノタルハ諸物品ノ
市價動搖間断ナキニ因テ明了ナレハ凡ソ宇内ノ間ニ一定不動
ノ價格標準ナルモノハ決シテ存在シ能ハサルヲ瞭然タリ夫レ
一定不動ノ價格標準トハ之ニ依リテ總テ自他品物ノ價格ヲ計
算スヘキ確定變動ナキノ物ヲ云フ義ナリ
然ルニ此ノ如キ確定變動ナキ物品ハ嘗テ宇内ノ間ニ存在セシ
トハ未タ余輩ノ決シテ見聞セサル所ナリ試ニ看ヨ總テ諸物品
ノ價格毎週動搖シテ更ニ同位ヲ保ツル能ハサル所以ノモノハ
一ハ之ヲ得ルノ難易喻ヘハ地下咫尺ヲ穿掘シテ金礦ヲ發見シ
或ハ地下數尋ヲ掘開シテ終カニ石炭脈ヲ發見スルカ如キ物品
固有ノ原因ニ依リ一ハ其物品ヲ製作スルニ必要ナル勤勞及ヒ
資本ニ映響ヲ生スル外部ノ原因喻ヘハ給料ノ厚薄利子ノ高低
ボニ依ルナリ

凡ソ人力ヲ以テ為シ得ヘキ最良ノ策ハ唯ニ真ノ一定不動ノ標
準ニ類似シタルモノ即チ自他ノ物品ヨリ一層堅固ニシテ價格
ノ動搖至テ稀少ナル一物品ヲ選抜シテ標準トナシ之ヲ以テ自
他凡百ノ物品ノ價格ヲ計算スヘキ法令ヲ布クニ過キス是政府
ノ力ヲ以テ能ク為シ得ヘキ所ニシテ既ニ英吉利ニ於テハ純金
ノ若干グラムヲ以テリブレ工ニ賃ヲ鑄造シ之ヲ以テ諸般ノ
物價ヲ計算スヘキ普通標準ト取極メ且曼ニ於テモ亦純金
ノ若干グラムヲ以テマルク賃ヲ鑄造シ之ヲ以テ普通ノ標準ト
シテ諸般ノ物價ヲ計算スヘキヲ取極メ兩國トモ之ヲ実行セ
リ
然リト雖此ノ如キ二節ノ物品ヲ選抜シ此ボノ二者ヲ以テ共
ニ價格ノ標準ナリ普通標準ナリ而本位ナリト取極ムルハ決シ
テ政府ノ為シ得ヘキ所ニアラス故ニ此ノ如キ二節ノ標準ヲ設

大藏省

ケ西本位トナサントスルハ世人ノ熟知スルカ如ク法令ニ二箇ノ時計ハ如何ノ注意ヲ以テ之ヲ製作スルト至均シク時間ヲ計測シテ毫末モ差異ナク製作スルヲ能ハサルニ強テ二箇ノ時計ヲ以テ時間ヲ計測スヘシトノ法令ヲ布クト同一ニシテ其舉ノ痴呆タル言ヲ待タサルナリ

金銀兩本位ヲ採用スルノ可否ニ付余輩カ以上ニ論述シタル理論上ノ意見ハ經驗上ノ適例ヲ以テ充分ニ証明スルコト得ヘシ諸君之述ヘシ
所謂金銀兩本位ヲ設立セントシテ企ハ曾テ一回モ成就セシトナシ凡ク何物品ニテモ之ヲ以テ價格ノ標準ト為サレト欲セハ先ツ之ヲ以テ各種ノ負債償却スル為メノ合法貨幣ト為スヨリ先ナルハナシ然リ而シテ法令ニ政府カ兩本位ヲ採用シ兩者何レモ各種ノ負債償却スル為メノ合法貨幣ト為スヘキ法令ヲ布

クアルト至長實際各種ノ負債償却スル為メノ媒トナリテ流通スルモノハ即チ其二箇中ノ只一個ノミナリ而シテ其流通スル一箇ハ低下ノ價位ヲ占ムルノ物ニ限ルナリ
法令ニ金銀ノ二者ヲ以テ價格ノ標準ト選定シ金銀ノ間ノ法律上ニ於テノ價位ヲ當時市場ニ於ケル金銀ノ間ノ價位ト同オ同位ヲモノト為スト至長一回市場ニ於テ金銀ノ間ノ價位ニ昇降ヲ生スルトキハ以前ノ價位ハ忽チ變動スヘシ然ルトキハ市場ニ於テハ低價ニシテ法律上ニ於テハ高價ナルモノ忽チニ市場ニ於テハ高價ニシテ法律上ニ於テハ低價ナルモノヲシテ流通ノ域外ニ排擠シ獨リ自ラ價格ノ標準トナルハ必ス然ナリ
既ニ前文ニ掲載シタル倫敦ノ本位銀一オンズニ付金價毎月ノ昇降表ヲ以テ金銀ノ間ノ價位ヲ四ヶ月間ノ久シキニ亘リ何々タル動搖ヲモ為サレシトハ四十三ヶ年間ニ唯一回タリシト

大藏省

明瞭ナルベシ

平常金銀ノ間ノ價位ハ毎月変動シ二ヶ月間引続キ價位居据ナルヲ稀レナリ然レモ法律上ニ於テ取極メタル金銀ノ間ノ價位ト市場ニ於テハ金銀ノ間ノ價位ト差異ヲ生スルキハ市場ニ於テハ依價ニシテ法律上ニ於テハ高價ナルモノ常ニ市場ニ於テ高價ニシテ法律上ニ於テ依價ナルモノヲ流通ノ域外ニ排擠シ自ラ全ク流通スヘシ

各人皆其負債ヲ償却スルニ最モ得易クシテ且ツ最モ依價ナル貨幣ヲ以テスルカ故ニ何レノ時ニ於テモ惡債ハ忍ラズ善債ヲ他疆ニ追放スルモノナリ
佛蘭西ノ如キハ早クモ既ニ千八百三年ニ於テ兩本位ヲ設立シ法令ヲ布テ以テ金銀ノ間ノ價位ヲ金志ニ付銀十五半ト取極メタリ此價位ヲ以テスレハ純銀一ポンスノ法律上ノ價位ハ即チ

純金ノ二十八グレセント百分ノ六十四ノ割合ナリ

純銀ト純金トノ割合夫レ斯ノ如クナリシト茲ハ四十有餘年ノ向佛蘭西市場ノ銀價ハ平均一ポンスニ付純金ノ二十八グレセント百分ノ二十五ニ超越セカリヤサレハ佛蘭西ニ於テハ法律ノカチ以テ純銀ノ價格ヲ一步有餘騰貴セリ是ヲ以テ佛蘭西ニ於テハ貨幣ニ鑄造セシ銀ノ價格ハ地金ノ銀ヨリモ一步有餘高價ニシテ貨幣ニ鑄造セシ金ノ價格ハ却テ其地金タル價格ヨリモ一步有餘依價ナリ故ニ鑄造ノ用ニ供スル為メ地銀ヲ造幣實ニ輸送シ又ハ金貨ヲ溶解シテ地金ト為シ或ハ又之ヲ他邦ニ輸出セシ者等ハ大約一步ノ利潤ヲ得タリ
當時ノ形況夫レ此ノ如クナリシヲ以テ勿論銀貨ハ佛蘭西ニ流入シテ其通貨ノ地位ヲ占メ金貨ハ忽チ消失シテ更ニ國內ニ流通セズ偶シ之ヲ得ンヲ欲スル者モ増歩ヲ出スニアラサレハ

鐵
省

得ルコトアタハサリシ

此時ニ当テハ僅カニ千「フラン」邊ノ少額ヲ拵ハレタル債主モ本
錦ノ大金震ヲ携ヘ行キテ嵩ミテ且ツ重キ銀貨ヲ請ケ取リ之ヲ
自宅ニ運輸スルニ自ラ之ヲ携持スルアタハスシテ或ハ擔夫ヲ
備ヒ或ハ荷車ヲ雇ヒテ之ヲ我家ニ致セリ

千八百五十二年以前僅カニ六ヶ年ノ間ニ佛蘭西ヨリ輸出セシ
銀貨ヨリモ同國ニ輸入セシ銀貨ノ超越セシ「一千八百」五「十」五テ
ル「リ」ン有餘ニ及ヘリ

銀ニ對セル金ノ價格ハ必ラス下落セスンハアルベカラスト曾
テ世人ノ先見セシカ如ク千八百五十年頃ニ「カル」フ「オ」ルニ「及」
ヒ「オ」ー「ス」ト「リ」ヤニ於テ金礦ヲ發見セシヨリシテ果シテ前段
ノ景況ヲ全ク轉變セリ之ニ由テ銀ノ市價ハ其鑄造價格ノ上ニ
騰貴シ隨テ鑄造ノ用ニ供スル為メニ佛蘭西ノ造幣寮ニ募集セ

シ金ハ巨額ナルニ至リ銀貨ノ莫大ナル高ハ皆溶解シテ地金ト
為シ以テ印土地方ニ輸出セリ

故ニ銀貨忽チ消散シニ「フラン」シ以下諸貨幣ノ價位ヲ大ニ引キ
上テ著シキ損失ヲナスニアラサレハ之ヲ他邦ニ輸出シ或ハ之

ヲ溶解スル「能ハ」サルニ至リ小貨幣ノ缺乏ヨリ不便ヲ生セシ
「鮮」少ナラサリシカ小貨幣ヲ以テ補助貨幣或ハ「ド」ー「ク」ンモニ

「各」人或ハ「會」社「ボ」リ「発」行シタル小貨幣ヲ云フトナシテ以テ漸ク此不便ヲ匡スル「テ」
ヲ得タリ仮令ヒ五「フラン」シノ銀貨ハ名義上ニ於テノミ其田價

ヲ維持シ以テ保存セリト雖モ其実ハ皆消失シテ更ニ國內ニ流
通セサリシヲ以テ其缺乏ヲ補充スル為メニ五「フラン」シノ金貨

ヲ鑄造セシ「テ」巨額ニ至レリ
假令ヒ斯ク五「フラン」シノ金貨ヲ鑄造セシト雖モ此金貨タル「恰

モ我々衆國ノ金「ドル」ラル債ノ如ク其形小ニシテ大ニ不便ナル

鐵
省

ヲ以テ輓近銀價ノ下落ニ由テ五フランクノ銀貨カ再ヒ流通ス
ルニ至リシ前既ニ五フランクノ金貨ヲ鑄造スルコトヲ廢止セ
リ
千八百五十二年ヨリ起算シテ僅カニ六ヶ年ノ間ニ佛蘭西ニ輸
入セシ銀貨ヨリモ同國ヨリ輸出セシ銀貨ノ超越ナリシテ四千
五百万フランク有餘ノ巨額ニ至レリ
此ニ由テ之ヲ觀レハ金銀兩本位ヲ設立セントノ佛國ノ金ハ全
ク其功ヲ萎スルヲ能ハサリシヤ知ルヘシ
抑モ佛國ハ千八百三年ヨリ千八百五十年頃マテ銀ノ單一本位
ヲ保テ千八百五十年以來ハ曾テ金ノ單一本位ヲ用ヒタリ
輓近頗フル銀價大ニ下落シタル以來猶ホ現今ニ於テモ頗フル
狹隘ナル制限ヲ立テ以テ其制限外ニ銀貨ヲ鑄造スルヲ嚴禁
スルモノハ即チ佛國カ金ノ單一本位ヲ固執スルノ實証ナリ又

夕我カ合衆國カ佛國ト均シク金銀兩本位ヲ設立セントノ企
恰モ佛國ノ如ク損失ト不便ト不成功ト此ノ三者ノ同轍ヲ蹈メ
リ
我合衆國ノ國會ハ千七百九十二年ニ一法ヲ布キ以テ我合衆國
ノ造幣寮ヲ設立シ併セテ貨幣鑄造ノ規則ヲ制定シ銀金二十四
グレートセント百分ノ七十五及ヒ銀銀三百七十一グレートセント百分
ノ二十五ヲ以テ一ドルラルノ定量ト取極メ之ヲ合法貨幣トナ
セリ是即チ金銀ニ付銀十五ノ割合ヲ以テ金銀兩本位ヲ設立セ
ントノ企ニシテ蓋シ此金銀ニ付銀十五ノ割合ハ恐ラク當時市
場ニ於ケル金銀ノ間ノ實際ノ價位ニテアリタルナルベシ
斯ク金銀指五ノ割合ニ取定メシト雖モ銀價ハ直チニ下落ニ
赴キ千八百年ニ至ラスシテ金銀指五ト百分ノ四十二ノ價位
ニ降レリ然ルニ又佛國ニ於テモ余輩カ既ニ前文ニ論述セシ如

大藏省

ク金一銀十五半ノ價位今猶ホ維持スルヲアタハサルニ至レリ
ト至レリ斯ノ如キ狀勢ナリシヲ以テ法律上ニ於テ高價ナル銀
貨ハ殆ント全ク流通ヲ占ルニ至リタルヤ固ヨリ論ヲ竝タス四
十年間ノ久シキニ鑄造セシ金貨ノ總額ハ一千二百萬ドルヲ以
以內ニシテ此少額ナル金貨モ多クハ珍奇物トシテ蓄藏スルカ
或ハ溶解シテ他邦ニ輸出スル所トナリタリ
是ヲ以テ金貨ハ稀ニ見ル所トナリ獨リ銀貨ノミ實地ノ本位ト
為レリ然レモ不幸ノ極唯ニ茲ニ底止セス我合衆國ノ銀貨ドル
ラハ其量目並ニ純量ニ於テモ西班牙製ノ刺縁ドルハ貨幣
ト殆ント同一ナリシヲ以テ平常剪斷摩滅ノ為メニ大ニ價位ヲ
減少シタル西班牙ノ小貨幣ハ西班牙領西印土及ヒ南亞米利
加ノ兩國ト我合衆國トノ貿易ニ由テ頻ニ我合衆國內ニ流入シ
連カニ殆ント全ク我合衆國普通ノ分數貨幣トナレリ

實ニ「ロ」スターリント稱スル西班牙ノ小貨幣ハ漸ク十七「セント」
ノ價モアルベキ程ニ甚シク摩滅シタルモ猶ホ我合衆國ニ於テ
ハ二十「セント」ニ通用セリ
抑モ我合衆國ノ造幣寮カ正量正價ノ亜米利加通用ノ分數貨幣
ヲ發行セシハ徒勞ニ屬セシト云フベシ何トナレハ此ボノ小貨
幣ハ真チニ之ヲ溶解シテ地金トナシ我合衆國內ニ我貨幣ト同
ボ同價ニ通用スル西班牙製ノ摩滅貨幣ト大利益ヲ以テ賣買ス
ル所トナリタレハナリ請フ幸ニ自省セヨ惡貨ノ貨幣ハ常ニ善
質ノ貨幣ヲ他疆ニ驅逐スルモノナリトノ原理ノ適例ハ以上ニ
論述シタル我合衆國ノ景狀ヨリ外善キモノナキヲ
我合衆國政府ハ千八百三十四年ニ至リ更ニ法令ヲ布キ現ニ本
位ヲ六分方低下ニ以テ金銀ノ間ノ價位ヲ金志ニ付銀十六ト取
極ノ前段ノ弊害ヲ料理セリ即チ純金二十四「セント」百分ノ

大藏省

七十九ナル旧来、制ヲ改メテ紙金二十三「クレント」十分ノ二
ヲ以テ一「ドル」ル貨ヲ鑄造セリ故ニ是迄英國ト為換ヲ取組ニ
一「ドル」ルハ五十六「セント」ヲ以テ一「ポント」代ニ充テシ
カ「ドル」ルハ十七「セント」ニ騰貴セリ且ツ又右制定ノ割合ニ
依レハ銀價ハ大約三分方低下ナリシヲ以テ金貨ヲ發行スル
實ニ巨額ニ至リ金貨ハ一般ノ通貨トナレリ然ルニ銀貨一「ドル」
ラ「ル」ノ如キハ殆ント全ク通用ノ外ニ置カレ幾ニ一「ドル」ル以
下ノ銀貨幣ノ流通スル所トナレリ是ト一「ドル」ル以下ノ小銀
貨ハ日々交換ノ際些少ノ出入上ニ於テ必要ナル人手ニ渡ル
實ニ數千回ナルヲ以テ自然摩滅シ速カニ其量目ヲ減少シタル
トニ因テ流通スル所トナリシナリ
西班牙製ノ摩滅貨幣流通ノ害モ人々其空價ノ五分、四以下ナ
ラテハ之ヲ受取ル「ル」ヲ拒ミ大ニ人々ノ好ヲ失シタルカ為メニ

漸々其勢ヲ減スルニ及ヘリ
此ニ由テ之ヲ觀レハ金銀兩本位ヲ設立セントノ企ハ實際六分
有餘本位ヲ低下シ價格ノ標準トシテ始メハ銀ヲ用ヒ終ニハ
金ヲ用ユルニ至テ終ヲ結ヒシ「ル」明了ナリ
一回本位ヲ定メタル後僅カ二十年ヲモ出スシテ市場ニ於テ
價格ノ動搖ヲ生シ為メニ再ヒ所謂兩本位ヲ復旧スルノ必要ヲ
生セリ千八百五十年以後達カニ小貨幣ト銀貨ナレハ溶解
シテ地金ト為シ以テ他邦ニ販賣スル所トナリシ程ニ銀價ハ非
常ニ騰貴セリ故ニ些少ノ購求ヲ為シ或ハ一「ドル」ラ「ル」ヲ拵ヒテ
其釣ヲ得ルヌラ容場ナラサルニ至レリ
茲ニ於テ我合衆國ノ國會ハ曾テ千八百三十四年ニ施行シタル
舉為ヲ取消セリ然レモ國會ハ金「ドル」ラ「ル」ヲ其従前ノ正量目ト
正價位トニ復セスシテ曾テ十九年以前ニ金「ドル」ラ「ル」貨幣ノ金

量ヲ減少シタルニケ均シク銀ドルラ銀量ヲ減少セシニ
過キス

故ニ千八百九十三年ノ法令ハ其実兩本位ヲ廢止シ獨リ金貨ヲ
以テ五ドルラ以上ノ公私ノ諸負債ヲ償却スルノ用ニ供スル
合法貨幣ト爲セシモノナリ何トナレハ純銀三百七十一「グレ
ント」百分ノ二十五ヲ含ミタル従前ノ一ドルラ銀貨ハ後令ニ
公然廢止セラレタルニアラサリシト雖モ其地金タル價格ハ其
貨幣タル價格ヨリモ大約三分方高價ニ至リシヲ以テ固ヨリ我
合衆國ニ於テ流通セスシテ實際上全ク其使用ヲ輕止シタレハ
ナリ

然レモ半「ドル」以下ノ分數銀貨ハ七分其量目ヲ減少シ
ハ「ドル」ラ以上ノ四分ノ一ヲ四箇合セテ計算スルモ純銀ハ唯ニ三
百四十五「グレ」ント十分ノ六ノミニシテ合セテ一「ドル」ラ
名アリト雖モ其量ハ一「ドル」ラ銀量ニ比スレハ大ニ減
殺セルモノトナシ唯ニ五「ドル」ラ以下ノ金額ヲ償却スル爲メ
ノ合法貨幣ト取極メ以テ補助貨幣ト爲シ僅カニ通用ヲ保ツ
ヲ得タルナリ

斯ク獨リ金貨ノミヲ單一本位トナセシ「實」ニ九ヶ年餘ニ及ビ
千八百六十二年ニ至リ不交換紙幣ヲ發行シ以テ之ヲ合法貨幣
ト爲セシカニハ實際一トシテ價格ノ標準ヲ廢棄セサルナク
爲メニ物情穩ナラス諸物價ノ動搖スル「甚」タ猛烈隨テ前後ヲ
顧ミズ猥リニ投機商賣ヲ醸生シ之カ爲メ我合衆國ノ被リタル
弊害ノ影響ハ猶ホ今日ニ至テモ回復シ能ハサル所ナリ

然レモ我合衆國ノ國會ハ千八百七十三年ヲ以テ當時最早銀價
ノ大下落ヲ生スヘキヲ前知シ蓋シ之カ預防トシテ我合衆國諸
般ノ銀貨ヲ唯ニ五「ドル」ラ以下ノ金額ヲ支拂スル爲メノ合法

大蔵省

貨幣ト為シ悉ク銀貨ヲ廢棄シ以テ金ノ單一本位ヲ設クル終局
ノ所置ニ着手セリ
銀ノ地金ヲ買入ル、ノ費用ヨリモ法律上ノ空價ハ違カニ高價
ナリシヲ以テ此地金ヲ貨幣ニ鑄造スルヨリ生スル所ノ利益ヲ
以テ銀貨摩滅ノ損失ヲ償フヘキ別途ノ資本トセリ蓋シ此利益
ヲ以テ平素銀貨カ其摩滅剪断ノ為メニ蒙リタル重大ノ損失ヲ
償フ為メニ之ヲ至古ニ適用スヘシ
余輩カ見ル所ニ依レハ我合衆國政府カ今一步ヲ進メ我合衆國
正金貨幣ノ制法ヲシテ英吉利及ヒ其他宇内一般貿易國ノ貨幣
法ト均一ナラシムルトコソ有益ノ所為ナリトス即テ我合衆國
ノ金ドルラ此ノ純金ヲ唯ニ一割レシムル五分ノ三ニ減少シ
即チ千八百三十四年ノ法令ヲ以テ損害ヲ生スルヲナク苦情ヲ
来スヲナクシテ金貨ノ量目ヲ減少シタルモノニ比スレハ違カ

ニ其半ヲ下ル丈ケノ些少ナル金量ヲ減少スルアラハ我合衆國
ノ「バア」フ、イ、イ、ガ、ル、即チ五ドルラ此貨幣ハ英貨「ア」オ、ン、ド、ス、テ
ルリシカト殆ント同等同價ノ貨幣トナリ佛蘭西及ヒ其他羅旬
聯邦ノ諸國ニ用ユル金貨二十五「フ」ラ、ン、ク、及ヒ日耳曼金貨二十
「マ」ル、ク、ノ價ト唯ニ些少ナル分數ノ差異アルノミニシテ殆ント
同一ニ至ラン
既ニ英貨「ア」ベ、レ、レ、即チ「ア」オ、ン、ド、ハ葡萄牙「ア」ラ、ジ、ル、及ヒ埃及
ボノ諸國ニテ現ニ通貨ノ一部分ト見認ノ各文明國ニ於テモ亦
其價格毫末ノ減少モナク實際之ヲ通用スルナリ
輓近墾地利ニテハ金貨四「フ」ロ、リ、ン、ト、ハ「フ」ロ、リ、ン、ト、ノ兩貨ヲ鑄
造シ以テ之ヲ發行セリ抑モ此ボノ貨幣ハ一ハ佛貨ノ十「フ」ラ、ン、
ク、一ハ同貨二十「フ」ラ、ン、ク、ト同價ノモノタルヲ以テ金貨四
「フ」ロ、リ、ン、ハ英貨「ア」オ、ン、ド、ノ何分金貨ハ「フ」ロ、リ、ン、ハ何分ト容易

ク之ヲ計算スルヲ得ルナリ
然ルカ故ニ余ノ賛成スル如ク少シク金量ヲ変更スルハ左ニ
掲載スル所ノ重大ノ便益ヲ来スヘシ

第一

此金量変更ノ舉ハ字内ノ貿易ニ從事セル諸國ノ為ニ貨幣
ノ位ヲ同一ニシ計算ノ各位ヲ一致シ均一ナル價格ノ標準ヲ
設立スルノ捷徑ナル可シ

第二

此金量変更ノ舉ハ各國互ニ輸出入ノ差ヲ算用結算シ計算ヲ
整理シ為替ヲ取組ム為メニ大ニ簡便ナラシム可シ

第三

此金量変更ノ舉ハ後來價格ノ標準^標ヲ堅固ニ保持スル至良ノ
所置ナリ抑モ万国皆價格ノ標準ニ動搖ナキヲ貴^貴フカ故ニ之

ヲ數年間動搖ナク維持スルヲハ緊要ノ事項ニシテ實ニ諸國
ノ大關係ヲ有スル所ナレハ之ヲ変更スルハ諸國ノ同意ニ出
テサレハ決シテ為ス可カラサルナリ

第四

此金量変更ノ舉ハ外國ニ貨幣ヲ差送ルニ際シ先ッ貨幣ヲ溶
解シテ地金トナシ之ヲ外國ノ造幣寮ニ依頼シ巨額ノ鑄造料
ヲ出シ^シ之ヲ再ニ貨幣ニ鑄造スルノ徒勞ヲ最早要セサルベ
シ
又我合衆國ノ政府ハ一回鑄造シテ自國ノ通貨トナセシモノ
ヲ輸出入ノ差ヲ拂ハシガ為メニ之ヲ溶解シテ外國ニ輸送シ
然ル後亦輸出ノ輸入ヨリ多キカ為メニ我國ニ還歸スル同一
ノ地金ヲ再ニ鑄造シテ通貨トナスク如キ巨費ノ煩勞ヲ省ク
ヘシ

第五

抑モ諸般ノ並米利加金貨ハ英國貨幣ハベレシト均シク字
内ノ各所ニ流通スルカ故ニ英國倫敦ヲシテ開明世界ノ為替
所開明世界ノ貿易ノ中心トナラシメタル利益ノ一部ヲ我新
約克府モ亦タ同享スルニ至ルヘシ

第六

博士尹エブオン氏カ嘗テ云ヘル如ク字内ニ通行シテ一点ハ
非モ舉クヘキナキ信任ニ堪スル最良ノ金貨ハ英吉利佛蘭
西日耳曼及ヒ並米利加ノ造幣寮ヨリ均シク之ヲ得ルニ至ラ
ン

第七

此金量変更ノ舉ハ正金拂ヲ再行シ紙幣ト引換スルニ至ルノ
便宜ヲ生スベシ何トナレハ現今紙幣ヲ以テ金貨ト引換シト

セハ五分半ノ増歩ヲ出サレバカラズ然レモ此舉ヲ行フキ
ハ直チニ此歩合ヲ三分程減少スルニ由レリ

然レモ金貨ヲ以テ償還セン下ヲ明約シタル諸負債及ヒ金貨ヲ
以テ仕拂ハシテ明約シタル諸般ノ契約ニシテ此金量変更ノ
令ヲ發セシ時ニ當リ猶ホ弁償仕拂ニ至ラサルモノハ一ドルヲ
以テ付純金二十三デレシト十分ノ二ヲ含有スル合法ドルヲ
以テ償還仕拂セン下ヲ命シ或ハ其ドルヲ以テ
セサルモ丁度其割合ニ當ルモノヲ以テ償還仕拂セン下ヲ公告
スルハ是正理ノ要スル所ナリ

斯ク論述シタル上ハ所謂金銀貨兩本位ト合法紙幣ト均シク
併用スルノ可否ニ付國會ヨリ我輩貨幣委員ニ下問セラレタル
第三項ノ質疑ヲ詳論スルハ格別緊切ノコトニアラサルヘ
シ

凡ソ金銀兩本位ヲ設立スルノ企ハ其都度數々法律ノ変更ヲ要
シ且貿易上ニ大不便ト大不安穩トヲ生シタルヲ以テ考フレハ
其弊ノ失策ニシテ且ツ実行スルアタハサル企タルヲハ既ニ理
論上ト經驗上トニ於テ証明セシカ如クナレハ三箇ノ本位ヲ設
立スルノ企ハ無論実行スベカラサルモノニシテ且痲呆ナル企
トシテ拒絶セラルハ当然ナリ
假令セ法律ヲ布キ以テ金ドルラニセヨ銀ドルラニセヨ或
ハ又紙幣ニセヨ更ニ差別ナク之ヲ合法貨幣トシテ用ヒンヲ
取極ムルヲ得ヘシト雖モ是迄負債ヲ償却スル為メノ貨幣ト
シテ實際ニ使用セラレタル合法貨幣ハ三箇ノ中其時ニ當リ最
モ低價ナルモノ一箇ニ限ルノミ
此故ニ三種ノドルラハ貨幣ヲ合法貨幣トナシ何レヲ以テ負債
ヲ償還スルモ敢テ妨ケナシト取極ノ其実三種ノ中ニテ當時最

モ低價ナルドルラハ貨幣ヲ以テ負債ヲ償却セシトテ許可スル
ヨリ俄カニ本位即チドルラハノ價格ヲ下落セシムルモノハ此
舉ヨリ最モ甚シキモノハナカルヘシ就中昨年間ノ如ク三種ノ
貨幣カ俄然大ニ其價格ノ動搖ヲ生スルニ當リ之ヲ許可スルヨ
リ本位ノ下落甚シキニ至リシモノハ未タ非ルヘシ
曾テ我合衆國ニ於テ鑄造シタル諸貨幣ノ中最モ重量ニシテ且
ツ最モ價格貴キ貨幣ナル貿易ドルラハ漸々昨年中ノミ
ニ金貨ドルラニ對シ大約八十六セントニ當リ又例リインベツ
キ紙幣ハ同シク大約八十九セントノ價ヲ有セリ
爾後五ヶ月ヲ經テ其割合全ク轉覆シ貿易ドルラハ金貨ドル
ラニ對シ騰貴シテ九十四セント半トナリゲリインベツキ紙
幣ハ同シク九十二セント半ノ價格ニ昇レリ
右貿易ドルラトゲリインベツキ紙幣トハ僅カ六ヶ月ヲ過キ

ズシテ其互ヒノ價格モ其自立ノ價格モ両ツナクハ斯ク昇降ヲ
生スルヲ以テ見レハ此ボノ二種ハ別々ニスルモ或ハ又同一ニ
スルモ如何ナル種類ノ本位タルヤ

蓋シ千八百七十六年ノ七月ヨリ十二月ニ至ルマテ諸物品共其
平均相場ハ苟モ現然タル動搖ヲ生セシトナキヲ以テ定メテ七
月ヨリ十二月ニ至ルマテ金ドルノ價格ハ變動ヲナストナ
ク同一ノ價位ヲ占メタリト云フモ取テ間然スルヲ能ハサルハ
シ

然レトモ若シ三箇ノ本位ヲ実行セシナレハ恐ラクハ右五ヶ月
ノ間々獨リ金ドルラレ貨幣ハ世上ニ通用セサリシコト必然ナ
リ

然ル上ハ我合衆國ノ國會カ仮令ヒ兩本位ニセヨ若クハ三箇ノ
本位ニセヨ兎ニ角之ヲ設立セントスル主義ハ如何ニ関ハラス

此舉ノ為ニ現ニ生スル所ノ結果ハ全ク金貨ヲ除去シ銀貨カ
若クハ合法紙幣ヲ獨リ價格ノ標準トシ諸負債債却ノ媒トセサ
ルヲ得サルハ必定ナリ

是ヲ以テ余輩ハ金貨ヲ措キ銀貨若シクハ合法紙幣ノ中一箇ヲ
選抜シテ單一本位ト取極ムルハ正當便益ノ所為タルヤ否ニ付
テノミ考察スルナリ

宜シク貨幣タルノ稱呼ヲ與フヘキ貨幣ハ其尽クスヘキ二箇
ノ職掌アリテ其務ムル所相異ナレリ乃チ價格ノ本位トナシ又
貿易ノ媒トナシテ使用スルヲ得ヘキモノニ非ラサルヲ得
ス而シテ其職掌中價格ノ本位タル務メハ貿易ノ媒タル職掌
ヨリモ遙ニ貴重ナルトハ言テ俟タズシテ明カナリ

蓋シ貿易ノ媒タル職掌ニ付テ論スレハ仮令ヒ何ボノ真價ヲ
モ有セサル讓渡切手ニテモ若クハ又負債証券ノ如キ物品ニテ

大蔵省

モ又其他何品ニ限ラズ殆ント皆貿易ノ媒介トシテ充分ニ能ク之ヲ使用スルヲ得ヘシ

凡ソ数多ノ物品中孰レノモノヲ選抜シテ貿易ノ媒介トナス一キヤノ疑問ハ即チ其物品中孰レノ物ヲ以テ最モ便利ナルヤヲ考究スルノミニ由テ之ヲ決議スルニ足ルモノトス

蓋シ銀銅ニツケル銀行ノ引出手形、鉄道切手、郵便切手ガハ皆營業ニ交易ノ用ニ供シ賣却ノ目途ニ備ル物品ノ讓與賣買ヲ輕便ニナスヘキ媒介トシテ用ユルヲ得ヘシ

所謂補助貨幣則チトクン、コーレンシナレモハ仮令モ銀タルモ銅タルモ若クハ又コツケルタルモ皆是貿易ノ媒介ナリ何トナレハ之ヲ天下ニ流通スルハ幾何ノ高ヲ過クヘカラスト抑制シ幾何ノ負債額迄ハ合法貨幣トシテ之ヲ以テ償却スルヲ得ヘシト制定シ又之ヲシテ真ノ價格標準ニ對シ一定ノ價格

ヲ有セシムルハ尽ク法律ノ定ムル所ナレハナリ

然レモ貨幣ノ他ノ職掌即チ價格ノ標準タル職掌ハ決シテ斯ノ如クニ非ルナリ何トナレハ貨幣カ此職掌ヲ至當ニ尽スト尽サ

ルトハ全社會ノ利害得失ニ關係スル所大ナレハナリ夫レ貿易ノ命脈及ヒ人間相互ニ信託ノ存亡ハ隨ニ契約ヲ履行シ約

ヲ違ヘサルト賃借法ヲ維持保存シテ懲ラサルト後日ニ至リ貨幣ノ價格ト物價ト、釣合何如ニ赴クヘキヤノ先見ト、此三者

ニ依ルモノナリ

凡ソ貿易ノ事業ニシテ最初取引約定ヲ結ブ時即チ賣買スヘキ物品カ初メテ其所有主ヲ變ユルノ時ニ於テ全局ヲ結フモノハ

甚タ稀ナリ殆ント貿易事業ノ十中八九ハ其性質ニ由テガ或ハ又其已ニ得サル約定ノ結果ニ由テカ多少未來ニ永久セサルヲ得ス

抑モ高買カ物品ヲ購求スルハ壹ニ再ヒ之ヲ販賣セシカ為メニ
買フノミ而シテ之ヲ販賣スルハ次週ニアルカ翌月ニアルカ或
ハ又翌年ニ及フカ預メ期スルヲ能ハス
凡ソ各貿易國ニ於テ販賣ヲナスニ當リ其中八九ハ皆貸賣ニ
シテ即チ未未ニ至リ之カ支拂ヲ為スヘキ約束ヲ以テ賣買スル
モノ許多ナリ斯ノ如ク契約ヲ約ヒタル負債ハ其後銀行及ヒ其
他同事業ノ會社オヲ經テ自カラ獲テ交易ノ用ニ供セ販賣ノ目
途ニ備フヘキ物品ニ化スルモノナリ而シテ斯ノ如ク化シタル
上ニ再ヒ又未未ノ信任ニ依頼セサルヲ得ス
速カニ消費スヘキ物品ニシテ現金販賣ノ場合ニ於テヌラ猶ホ
購求者カ取引ノ場所ト時トヲ選ラズ所以ノモノハ常ニ他所ニ
於テハ物價如何他日ニ於テハ物價如何ヲ預算スルニ由レハナ
リ

總テ以上ニ論述シタル如キ賣買約束及ヒ代價ヲ拂フヘキ約定
オハフランク^クフ^フオ^オンド^ドステ^テレル^ルシ^シク^ク或ハ又^又ドル^ルラ^ラル^ルノ如キ普
通ノ名位ヲ以テ計算明言セサルヲ得ヌ又必要ノ場合ニ於テハ
此名位ヲ以テ之ヲ書セガルヘカラス而シテ此名位ヲ後日如何
ノ變動ヲ為スヤヲ測知スルヲ得タル時ハ貿易事業ニ從事セ
ント欲スル各人ヲシテ大ニ其氣ヲ沮喪セシメン^ト必セリ或ハ
之ヲ測知スルヲ能ハカレハ其貿易場ニ從事シタル人々ヲシテ終
ニ困難ヲ蒙ラシメ不義ニ墜ラシメサルヲ得ス
凡ソ此等ノ弊害ヲ生スルハ曾テ商業ノ取引ヲナシ又ハ契約ヲ
結ヒ置キ未タ其全局ヲ結ハサル期限内ニ現ニ本位ヲ変更スル
カ為メノミナラス又人々ヲシテ其期限内ニ本位ノ價格動搖ヲ
生スル^ルヲ^ヲマル^ルヘ^ヘント^トノ恐懼ヲ懷カシムルニ由テナリ
苟モ貨幣ノ一落ヲ生スヘキ^ト其下落セサル前^前三週^{三週}間^間ニ前

知スルヲ得シナレハ各人之力為メニ後日市場ニ来スヘキ狀
響ヲ前見推言シ人心恟々ヲ生スルカ故ニ其下落ヲ生セサル前
此ニ之ニ先知テ物價ノ非常ナル騰貴ヲ察生スルニ至ラン而シ
テ後ニ真ノ貨幣下落ヲ生スルニ當テハ嚮ニ其下落ヲ恐レタル
ト物價ノ騰貴ヲ望ミ失望シタルトノ反動ヨリシテ物價非常ノ
下落ヲ同時ニ併發スレラン斯ノ如クナレハ貿易ハ恰カモ一
種ノ富講ニ類シ貿易ト製造ト、正々堂々タル事業ハ全ク廢棄
ニ至ラカルヲ得ヌ仮令ヒ貿易製造ノ道未タ全ク廢棄セサルモ
代價ノ返還必スヘカラサルカ故ニ恰モ保險料ノ如キ非常ノ贏
利ヲ得ルニアラサレハ之ヲ行フヘカラス
斯ク保險料ヲ課スルニ由テ物價ノ騰貴ヲ生スルモ職工ノ給料
即チ其歲入額ニ於テハ同一ノ増加ヲ生サルヲ以テ社會中ノ全
ク勤勞ヲ以テ營生ヲ為ス階級ハ勿論其他物品ノ消滅者ニハ之

力為メニ何等ノ報酬ヲモ付與セズ徒ニ損失ヲ蒙ラシムル而已
余輩署名人ノ意見ニ依レハ今銀貨ヲ以テ本位トナスハ我合衆
國ノ現時施行スル所ノ不交換紙幣ヲ以テ通貨トスルノ法ヲ統
行スルカ為メニ我合衆國ノ製造及ヒ貿易ノ衰凋ヲ来シ隨テ
農工商皆其災害ニ罹ルヨリモ製造ト貿易トノ衰凋ヲ来ス一
層甚シク隨テ農工商ノ災害ヲ被ルルモ亦多劇甚ナラントス
昨年間銀貨ノ動搖セシ一ハ紙幣ノ價格動搖アリシヨリモ一層
大ニシテ且ツ一層速カナリシノミナラス又銀價ノ動搖スル所
以ノ原因ハ紙幣ノ價格動搖スル所以ノ原由ヨリモ一層看破ス
ルニ難クシテ之ヲ管理スル一ハ全ク法令ノ及ハサル所ナリ
今夫レ合衆國ノ國會カ遂次適宜ニ其合法貨幣ヲ喊少スレハ下
ルニ紙幣ノ價格カ現價ヨリモ下ニ沈落スルヲ防止スルヲ
得ヘシ而シテ其他二三ノ良法ヲ行ナハ、假令ヒ法令ヲ布キ以

テ正金拂ヲ再行シ紙幣ト引換ユヘキ旨ヲ確定セシ期日ニ至ラ
サル前ニモ既ニ紙幣ノ價格ヲ平價ニ昇騰セシムルヲ得ヘキ
ヤ必セリ而シテ世上ニ騷擾ヲ起スヲナク市場ノ安寧ヲ妨害ス
ルヲナク又公債証書ノ相場師ノ外ハ何等ノ人ニモ危險ノ思ヒ
ヲ懷カシムルヲナク之ヲナシ得ヘシ
然レニ近時ノ変遷ヲ目撃シタル人ハ誰カ此後六ヶ月ヲ過キ銀
價幾何ニ至ルヘキヤヲ預知シテ之ヲ語ルヲ得ンヤ又誰リ能
ク法律ノカマ以テ一ヤニシタリニ銀價ヲ増減スルヲ得ヘ
シト云フヲ得ンヤ
凡ソ立法官ニシテ之ヲ為スヲ得ヘシト云フ者アラハ己ノ身
長ニ寸尺ヲ加フルヲ得ヘシト云フモ異ナラサルナリ嗚呼豈
此理アラシヤ
今ヤ政羅巴全國章テ銀貨ヲ放棄セントスルノ時期ニ際シ我合

衆國ヲシテ銀本位ヲ採用センヲ稱讚スル所以ノモノハ假令
ニ外面ノミニシテ其實ナシト雖モ自ラ一振松ノ存スルニ由ル
ナリ我合衆國政府ク銀貨ヲ以テ本位トスルノ法令ヲ出サハ必
ラスヤ字内ノ諸市場ニ於テ銀價ヲアウ公債証書ノ相場師ノ
テ相場ヲ騰貴スルニ結果ヲ生スヘシトノ空望是ナリ
假令ニ我合衆國政府カ此ノ如キ法令ヲ出カハ日耳曼及ヒ其他
政羅巴ノ諸國カ猶ホ賣残セシ銀ヲ需リヘキ市場ヲ更ニ生スヘ
シト假想スルモ其法令ハ固ヨリ「ゴムストツク」銀鑛ヨリ生スル
銀ノ產出ヲ過止スルヲ能ハサルヘシ又英領印土ト支那ノ兩
國トヲシテ字内文明諸國ノ殘銀ヲ吸飲シ尽カスヘキ勢力ヲ挽
回セシムルヲハ為シ得サルヘシ
抑モ後日銀價ヲ昇騰シテ獨リ其利ヲ恣ニセントノ空望ヲ懷キ
今字内ノ諸國皆僕ニ放棄セントスル銀貨ヲ依價ニテ占買シ公

債証書ヲ賣買スル相場師。均シキ事業ニ關係スルハ當ニ我合
衆國ノ利益ヲ害スルハ必然タルノミナラス。又是我合衆國ノ名
聞ニ遠セサルモノナリ。實ニ斯ル事業ヨリ生ズル所ノ利益ハ悉
皆獨リ銀礦ノ株主ガノ收獲スル所トナルノミニシテ之ヨリ生
ズル損毛ト不便トハ獨リ我合衆國ノ人民而已蒙ムル所トナル
モノナリ。

何故ニ銀貨ハ金貨ノ爲メニ金屬貨幣中ノ首位ヲ讓ラサルヲ得
サルヤニ付茲ニ特別ノ理由アリ。請フ試ミニ之ヲ述ン夫レ銀貨
ノ量目ト嵩トハ其價格ニ比スレハ過大ナルモノナリ。故ニ巨額
ノ取引上ニ於テ之ヲ使ヒ及ヒ万国互ヒニ其輸出入ノ差ヲ決算
スルニ際シ之ヲ用ユルハ不便モ又不便ナリ。

蓋シ銀貨ハ唯ニ僅少ノ賣買ニ適用シ又大數以下ノ分數ヲ清算
スルニ適用スヘキモノナレハ貨幣中ニ於テ其班列スヘキ地位

ハ即チ附屬地位ニ過キナリ而シテ其附屬ノ地位タル

補助貨幣モ今將ニ政羅巴諸國ニ於テハ區畫制限セラレン
トスルノ勢アリ

余輩ハ曾テ我合衆國造幣寮長ノ言ヲ聞キシ。アリ曰ク金貨幣
ノ一百万ドルラレハ一「ド」十六「ホ」ンドルトウエト「ハ」十六「ブ」
オンドノ目方アリ銀ノ貿易「ド」ルラレハ一百万ハ三十「ド」ノ目方
アリ補助銀貨ノ一百万「ド」ルラレハ二十七「ド」十一「ホ」ンドルト
ウエト「ハ」強ノ目方アリト

千八百四十年頃佛國ニ在留セシ人ハ何レモ當時同國ニ於テ金
銀兩貨ヲ本位トスルノ名アリト雖モ其實ハ唯ニ銀貨ノミヲ以
テ本位ト爲シ且ツ一「ブ」ラン「ド」以下ノ銀行紙幣ヲ使用スル
ノナカリシ時タルヲ以テ銀貨幣ハ其量目重ク其嵩大ニシテ如
何ニ不便ノ貨幣タリシヤヲ記憶スルナラン

以上陳述スル所ノ外尙ホ銀貨幣ヲ使用スル「ド」ニ付重大ナル弊

害アリ即チ銀貨幣ハ摩滅剪断オノ為メニ痛ク其量目ト其價格トヲ損失シ場キテ是ナリ
之ニ反シテ金貨ハ摩滅剪断オニ由テ其量目ト其價格トヲ損失スルヲ實ニ稀少ナリ何トナレハ金貨ハ其形小ニシテ巨大ノ價格ヲ有スルヲ以テ支拂ノ為メニ之ヲ差出ス者アレハ密ニ之ヲ點檢調査シ苟モ其量目不足ナル時ハ必ス之ヲ受取ルヲ拒ムカ故ニ摩滅剪断シタル金貨ハ失シテ通貨ノ部中ニ加ハルヲ得サルナリ然レモ一ドル以下ノ分數銀貨ハ勿論總テ請銀貨トモ其價格金貨ニ比スレハ輕少ナルカ故ニ之ヲ受取ル者密ニ檢査スルヲナクシテ又之ヲ其終ニ使用シテ其元價幾千ノ損失ヲ蒙リタルヤ否ニ更ニ注目セサルナリ
博士「ゴエブオ」此永ク世上ニ流通シタル金貨「レエント」暫時世上ニ流通セシ金貨「レベレエント」ヲ手ニ入ルニ任セ之ヲ取

上ケテ數多ノ量目ヲ計リ小心徐々トシテ博ク經驗ヲ極メタル後凡各貨幣カ摩滅ノ為メニ蒙ル所ノ損失ハ概テ其使用ノ年月ニ依テ多寡アリ使用ノ年久シキモノハ損失多ク其短キモノハ損失少ナキヲ確言セリ同氏ハ亦タ此理ニ基キ各「レベレエ」貨幣カ平均一々年ニ蒙ル所ノ損失ハ一「レ」ノ十分ノ四十三タルヲモ確言セリ故ニ二十六年間之ヲ使用スル時ハ摩滅ノ為メニ其價格ヲ損スルヲ大約一分ナルヘシ
又同氏ハ此理ニ依テ平均半「レ」ベレエ「レ」貨幣ノ毎年ノ摩滅ハ一「レ」ノ十分ノ六十九即チ一「レ」ベレエ「レ」貨幣カ蒙ル所ノ摩滅ノ半倍以上ナルヲモ察見セリ
サレハ小貨幣ハ摩滅ノ為メニ大約十六ヶ月間ニ其價格ノ一分ヲ損失スルナリ抑モ小貨幣カ此ノ如キ巨大ノ損失ヲ蒙ル所以ハ其量目ニ比スレハ大貨幣ヨリモ一層廣濶ナル表面

暴露シ且ツ小額ノ賣買ニ於テ大貨幣ヨリモ一層劇シク使用セラル、ヲ以テナリ

余輩ハ銀貨ノ摩擦ノ為メニ年々幾何ヲ損失スルヤヲ確言ス可キ為メニ「ゲユブオン」氏ノ如キ細密詳明ナル経験ヲ為シタル者アルヲ聞知セスト更ニ若シ金銀両貨ノ状況ヲ比較セハ稍シ可トスヘキ預算ヲナスコト得ヘシ依テ餘事ハ暫ラク措キ持ニ貨幣カ蒙ル所ノ損失ノミニ就テ論セン

抑モ貨幣カ蒙ル所ノ損失ハ人手ニ觸レ又物ニ觸レテ摩擦ヲ蒙ル表面ノ廣狹ト其使用ノ繁緩ト使用方ノ丁寧ナルト匆卒ナルトニ依テ多寡アルモノナリ

是ニ依ラ之ヲ觀レハ「シリング」ノ貨幣ハ「ワベレエ」貨幣ト表面ヲ摩擦セラル、カ故ニ獨リ此原因ノミニヨリシテ銀貨「シリング」ノ「アオンド」ステルリングハ「アオンド」ステルリン

グノ金貨一個ノ摩擦ヨリモ二十倍多ク年々摩擦ノ為メニ損失スヘシ

且ツ日々無数ノ小取引上ニ於テ「シリング」貨幣ヲ使用スル「ワベレエ」貨ヨリモ一層繁劇ナルノミナラス且ツ使用方又粗忽ニ涉ルヲ以テ其摩擦ノ為メニ損失スル所モ大ニ増加セサルヲ得ス

然ラハ銀貨ノ摩擦ノ為メニ蒙ル所ノ年々ノ損失ハ輕算スルモ百分ノ一ニ下ラザルヘシ有名諸大家ノ預算セシ所ノモノハ至當ナリト思ハル、ナリ

是ニ由テ之ヲ觀レハ銀貨ノ改鑄費用即チ其正當ノ量目ト正當ノ形状トニ於テ之ヲ維持スルノ難キハ金貨ヲ改鑄スルノ費ヨリモ大概二十六倍巨大ナルコト知ルヘシ

若シ我政府カ巨額ノ費用ヲ出シ年々摩擦ノ為メニ貨幣カ蒙ル

所ノ損失ヲ償フヘキ職任ヲ務メサルアラハ我銀貨ハ忽テ見ル
可ラサルノ景況ニ至ラン
凡ソ貨幣ハ平常数年間性ハシク使用セラル後ハ自ツカラ減殺摩
滅ノ色ヲ生シ量目ノ損失ヲ表示スルモノナリ然ルニ不良ナル
人々ハ此期ニ乘シ造幣寮ヨリ新ニ発行セシ貨幣ヲ枚取シ且ツ
旧貨幣中最モ摩滅ノ少ナキモノヲ選抜シテ之ヲ剪断シ量目ヲ
減シ以テ自他減殺摩滅ノ貨幣ト同様ナラシムルカ為メニ量目
減少ノ害ハ漸々増加シテ愈々波及ノ勢アリ
又現今恐ラクハ我合衆國ノ銀貨ハ其真ノ價格ヨリモ一割方高
價ニ通用スルカ故ニ銀ノ少量ヲ有スル外國ノ銀貨ハ近傍ノ諸
國ヨリ続々流入シ以テ其本國ニ於テ通用スル價格ヨリモ一層
高價ヲ以テ我合衆國內ニ流通スルナリ然ルニ此ボノ侵入貨幣
ヲ我國內ヨリ追放スルハ決シテ容易ノ事業ニアラス故令ヒ我

合衆國ノ分數銀貨ハ至テ近來通用スル所トナリシト並ニ「カナ
ダ」及ヒ西班牙製ノ摩滅貨幣「オルト」及ヒ亞米利加製ノ剪断
貨幣ハ既ニ我國內ニ流通シ始マレリ
故ニ若シ今ニシテ至当ノ方法ヲ用ヒ之ヲ匡スルニアラサレハ
我合衆國ノ銀貨ハ速カニ瓊タ千八百三十年以前ノ如キ見ルベ
カラザルノ景況ヲ生シ則チ英國ニ於テ千六百九十六年ノ銀貨
改鑄以前ノ如キ惡景況ニ至リ又千八百七十三年日耳曼國ニ於
テ銀本位廢止以前ノ如キ慘狀ヲ來スアラン
尤モ當今ノ処ニテハ此弊害モ尙ホ未ダ格外ノ甚シキニ至ラサ
ルヲ以テ今若シ銀貨ヲシテ唯ニ其貨幣タル本分即チ補助貨幣
タルノ職掌而已ヲ尽サシムルニ制定シ決シテ補助以上ノ通
用貨幣ヲラシメサルアラハ此弊害ヲ匡治スルニ敢テ難シトス
ルニ足ラサルナリ

斯ク銀貨ノ本分ヲ制定シ以テ補助貨幣ヲラシメタル上ハ其合法貨幣タル小額ヲ除クノ外ハ何人モ斯ル摩滅剪断ノ貨幣ヲ受取ルニ及ハサルヘシ

我合衆國ノ政府ハ銀貨ヲ發行スルニ當リ遙カニ其真價ヨリ高貴ナル割合ヲ以テセシカ故ニ巨大ノ利益ヲ收得シ加之現ニ世上ニ流通スル銀貨ノ金額ハ甚タ巨大ナラサルヲ以テ漸々摩滅毀損シテ輕量ニ至レル銀貨ヲ続々引キ上ケ更ニ造幣寮ヨリ新製正量ノ銀貨幣ヲ出タシテ其欠ヲ補フタメニ由テ生スル所ノ諸費用ヲ弁償スルノ資金トシテ此利益ヲ至當ニ用ユルヲ得ヘシ

輒近英吉利佛蘭西ノ兩國ニテハ宜ク此方法ヲ用ヒ以テ其回通用ノ補助銀貨ヲシテ完全善美ノ形状ヲ保持セシムルヲ得タリ

就中英吉利ノ如キハ毎年新製完然ノ銀貨三百万ポンドヲ發行スルヲ成規トス然レハ其發行高ニ應シテ摩滅毀損ノ旧貨幣ヲ引上ルヲ以ツテ補助貨幣ノ額ヲ更ニ増加スコトナシ之ニ及シテ若シ我合衆國ニ於テ銀貨ヲ以テ仮令ニ幾何ノ金額ニ至ルト雖レ之ヲ合法貨幣ト為シ所謂兩本位若シクハ三重本位ヲ行フ時ハ蓋シ金貨ハ忽チ流通上ヲ去リテ毫モ人目ニ觸レサルニ至ラン果シテ斯クノ如キ制法ヲ布キ以テ銀貨ヲ合法貨幣トシテ使用スル制限ヲ立テサルトキハ摩滅毀損シタル銀貨ヲ改鑄スル為メニ毎年必要ナル莫大ノ費用ヲ弁償スヘキ資金ヲ得ルニ由ナキナラン

然ル上ハ我合衆國ノ大藏省ニ我合衆國ノ人民モ皆俱ニ英領印土カ既ニ數年前ニ踏ミタル同轍ヲ踏ムニ至ラン則チ内ニ一其得ル所ノ租稅給料割賦金等復タ昨年間ノ如ク僅々六ヶ月以内

ニ一割六分ノ下落ヲ生スル貨幣ニテ之ヲ受取ルニ外ニハ金貨
ヲ以テ而已拂フヘキ内外債極メテ巨額ナルト是ナリ
抑モ此主旨ヲ能ク會得セサル兩三輩等ハ若シ我合衆國ニ於テ
金銀兩本位ノ制度ヲ行フニ當テ我造幣寮ト我大藏省トカ人民
ノ需求ニ應シ何時モ金貨ヲ持チ來レハ銀貨ニ換ヘ銀貨ヲ持チ
來レハ金貨ニ換ヘテ交換上更ニ其價格ニ於テ差異ヲ立ルナ
クシハ金貨ノ銀貨ヨリモ下落シ又銀貨ノ金貨ヨリモ下落スル
ノ理由ナシト想像スルナリ
固ヨリ我合衆國ノ政府カ充分痴愚普鈍ニシテ斯ノ如キ交換ヲ
為スノ愚ヲ悟ラサルノ間ト我造幣寮及ヒ我大藏省カ其金貨幣
ノマラシ限リヲ交換ニ供シ更ニ餘利ナキニ至ル迄數週ノ間ハ
金貨モ銀貨モ其價格下落ヲ生スルノ患ナカルヘシト輩モ何如
ソ之ヲ永遠ニ期スヘケンヤ

其故何トナレハ倫敦府ノ市場ニ於テ金ニ對セル銀ノ價格ハ今
日ニ在テハ從前ノ價格ヨリモ僅ニ二分方下落スルト仮想セシ
カ然ル時ハ何人ニテモ倫敦府ヨリ九十八万ドルヲルノ價アル
銀地金ヲ輸送シテ我合衆國ニ輸入セハ我合衆國ニ於テ之ヲ金
貨ト交換シ一百万ドルヲルノ金貨ヲ受取ルヲ得ヘシ然ル上
ハ我合衆國造幣寮ノ身代限ニ由テ其交換ヲ妨碍サルニ非レ
ハ彼ハ斯ノ如キ交換ヲ再三再四反復シテ忽チ我合衆國ノ金貨
ヲ持去リ銀貨ヲ以テ此國ヲ充溢シ俄ニ其價格ヲ下落セシムレ
ハナリ
高價ノ金屬ト低價ノ金屬トヲ強テ配偶セシムルヲハ若シ宇内
万国皆其不釣合ノ配偶ヲ一致承諾スル時ニ非レハ離背スル
ナリ之ヲ永遠ニ維持スルヲ能ハサルモノナリ
然レハ蓋シ英吉利及ヒ日耳曼ノ兩國ハ直チニ其配偶ノ公告ヲ

禁制スヘキカ故ニ「モンシユールセルマシ」此カ金銀ヲシテ同
等地位ニ配偶セシメントスルノ策ハ蓋シ速カニ実行スルヲ能
ハサルナリ

現今補助銀貨ヲ発行スルノ制限及ヒ之ヲ合法貨幣ト為ヌノ分
限ヲ大ニ擴張スルモ銀貨ヲ増加スルニ隨ヒ其増加ノ度ニ應シ
テ同額ノ紙幣ヲ引上ケ恰モ以前一「ドル」以下ノ小數銀貨ヲ
発行シ発行高ニ應シテ同額ノ紙幣ヲ減少シタル時ノ如キ手續
ヲ踏ミ通貨ノ有高ニ於テ更ニ増加ヲ生セシムルヲナクシハ余
ハ更ニ其不可ナル所以ヲ見サルナリ

斯ノ如クセハ正金拂ヲ再行シ以テ紙幣ト引換ユルノ目的ヲ達
スル為メニ一大捷徑ヲ行フモノト云フヘシ且ツ此所置ヤ庶ク
銀貨ヲ使用セシトテ主張スル者ノ為メニ一步ヲ譲ルモノト云
フヘシ

各々紙銀三百四十九「セント」十分ノ六ヲ含有スル「ドル」
貨幣ヲ鑄造シ之ヲ二十「ドル」以下ノ支拂ニ供スヘキ合法貨
幣ト為シ五「ドル」以下何種ノ国立銀行ノ紙幣ニテモ何種ノ
「クリンベツ」紙幣ニテモ總テ之ヲ引上ケンカ為メニ「銀
貨」ヲ発行シ斯ノ如ク引上ケタル紙幣ハ尽ク直チニ之ヲ廢滅ニ
付スベシ

斯ノ如ク統々発行シテ流通セシメタル銀貨幣ハ凡ソ人民ヨリ
我合衆國ノ政府ヘ拂フヘキ諸稅其外トモ獨リ金貨幣ノミナリ
テ拂フヘキ法令アラサルモノハ皆幾何ノ金額ニ及フモ之ヲ我
合衆國ノ大藏省ニ於テ異議ナク受取ル「ト」為シ其発行高非常
ノ過餘ニ至ルヲ豫防スルコソ緊要ナリ
此ボノ銀貨幣ハ貿易ノ媒ムトシテハ至極便利ニシテ甚モ故障
スヘキ瑕瑾ナキモノナリ而シテ此ボノ銀貨ハ價格ノ標準ニア

ラサルヲ以テ公私ノ諸契約ヲ正シク履行スルニ於テ如何ノ不都合ヲモ生スルノ患ナキモノナリ
又此ボノ銀貨幣ニ之ヲ溶解シテ外國ニ輸出セシトスレハ莫大ノ損失ヲ蒙ムラサルヲ得ス然ルニ我政府ニ於テハ仮令ニ幾何ノ金額ニ至ルトモ之ヲ受領スルカ故ニ市場ニ於テ其價格ヲ墜落スルヲアルヘカラス
現今世上ニ流通スル一ドルラ及ヒ二ドルラノ紙幣ハ總額大約六千九百万ドルラナルベシ
依テ右六千九百万ドルラノ紙幣ヲ漸々引上ケ之ニ換フルニ銀貨幣ヲ以テスレハ少額ノ諸取引上ニ於テ毫モ不都合ヲ生スルヲナカルベシ
今ヤ余輩ハ我貨幣變負ノ評議ニ附セラレタル末項ノ質疑ニ論及セリ即チ其末項ノ質疑タル他ナシ我合衆國ニ於テ正金拂ヲ

再行シ以テ紙幣引換ノ舉ヲ便易ニ行フヘキ良善ノ所置如何ト云フノ問題是ナリ
余ヲ以テ之ヲ看ルニ既ニ前文ニ論述シタル如ク金貨ノ量目ヲ減殺シテ之ヲ本位トナスト銀貨ノ使用ヲ制限シテ補助貨幣タル至當ノ職掌ヲ尽サシメ以テ紙幣ト引換ニ於テ之ヲ発行スルト此ニノ所置コソ市場ニ於テ何等ノ騷擾ヲモ起スヲナク又不意ニ通貨ノ變更スルヨリ何等ノ有害ナル動搖ヲモ生スルヲナク又全社會中上下ニ論ナク宜シク政府ノ保護ヲ受ントテ請求シ得ヘキ我人民ヲ危害ニ陥ラシムルヲナクシテ正金拂ノ再行ヲ略ハ成就セシムヘキ良善ノ策ナリ
以上ニノ所置タル兩ツナカラ現今正金拂ノ再行ニ抗論スルノ色アル只二派ノ黨類ニ對シ何レニモ能ク一步ヲ讓ルモノト云フベシ

從來一ドルラ此ノ金貨カ含蓄セル純金ノ量目ヲ減少シテ更ニ
二十ニダレシ十分ノ六ト爲シ此一ドルラ此純金貨ヲシテ合法
紙幣タルガリエレベキノ現價ト殆ント均シキ價位ニ降下シ
來ラシムル時ハ是レ負債者オノ中ニ於テ今若シ正金拂ヲ再行
シ紙幣引換ノ舉ヲ行ハ、其負債ヲ償却スルノ道ニ於テ今日ヨ
リ一層甚シキ困難ヲ生シ來ルヘシトテ頻リニ危懼スルモノヲ
シテ大ナル幸福ヲ得セシムルノ所置ト云フヘキナリ
又銀貨ヲ發行シ以テ五ドルラ以下ノ諸紙幣ヲ悉ク引換ント
スルハ所謂銀貨ニ味方スル者等カ我合衆國ノ政府ニ對シテ請
求シ條理ノ許ス所ヲ犯サズシテ当然ニナスヲ得ヘキ充分ノ
保護ヲ與フルノ所置ト云フヘキナリ
我合衆國ノ政府カ余ノ贊成スル此等ノ二策ヲ採用セハ是迄金
貨ト引換ントスルニ際シ出セシ増歩ハ曾テ千八百七十六年三

月九日以來其下落セシカ如ク今又暖々トシテ速カニ下落ス
ベシ且ツ仮令此ノ如ク下落スルト雖モ恰モ其時ノ如ク何等
ノ幣害ヲ生セサルベシ是レ信ヲ置クニ足ル當然ノ理由アルモ
ナリ
其故何トナレハ千八百七十六年三月九日以來十ヶ月間ニ増歩
ノ下落セシテ一割五分ヨリ五分半ニ至リタレモ苟モ何等ノ災
害ヲモ生スルヲナク何等ノ騷擾ヲモ起スヲナクシテ却テ信任
ノ繁殖ト貿易ノ再興ヲ來セシテ鮮少ナラカリシヲ以テナリ
是ニ由テ之ヲ觀レ、後來金貨ノ増歩仮令ニ三分ヨリ終ニ皆無
ノ點マテ下落シ來ルモ爲メニ何ボノ不幸ナル結果ヲモ生スヘ
シト危懼スル理由ナシト云フベシ
斯ノ如クシテ紙幣騰貴シ金貨ト平等均一ノ價位ニ達スル時ハ
我合衆國ニテ曾テ法令ヲ布ヒテ以テ取極メタル紙幣引換ノ年

月ニ至ラサル前既ニ難ナク其引換ニ着手スルヲ得ベシ
故ニ其年月ニ至ルモ我合衆國ノ大藏省ニ對シテ紙幣ノ引換ヲ
要求スルヲ甚タ急劇ナラサルヘキニ付是迄既ニ我大藏省ニ於
テ蓄藏シアル残余ノ金貨ヲ以テ容易ク之ニ應スルヲ得ヘキ
ナリ
然レモ我合衆國ノ大藏卿ハ金貨ノ増歩カ終ニ皆無ノ点ニ下落
シテ紙幣ト平等均一ノ價位ニ至ルヲ確實ニシテ且又紙幣ノ高
猶ホ人民ノ需求ニ超過スル所ノモノヲ減少セシカ為メニ既ニ
世上ニ流通スル紙幣ヲ逐次ニ減少スヘキ方策ヲ定メ漸々之ヲ
減少セスルハアルヘクラサルナリ
我合衆國ノ大藏卿ハ既ニ紙幣引換ニ備フルノ資本トシテ公債
証券ヲ賣出シ以テ金貨ヲ買入ルヘキ委任ヲ政府ヨリ蒙リ且又

斯ノ如クシテ買入レタル金貨ハ再々之ヲ賣拂ヒ以テ合法紙幣
ヲ收納スヘキ委任ヲモ蒙レリ
我合衆國ノ大藏卿ハ其收納セル合法紙幣ヲ毎月三百万ドルヲ
此宛ニ消滅シ決シテ自他紙幣ヲ發行シテ代用スルヲナカ
ランヲ要ス
是既往二十ヶ月間ニ在テ自ツカラ我合衆國ニ生セシ紙幣減
少ノ同割合ヲ法令ノ力ニ依リ漸ク連続セシムルノミニシテ敢
テ特別ノ所置ヲ用ユルニアラサルナリ
此等手初メノ所置ヲ施行セハ我合衆國ノ國會カ曾テ諸法令ヲ
布キ以テ金銀ノ外然テ何物何品ニ限ラズ合法貨幣トナシテ負
債ヲ償却スルモ妨ケナキ旨ヲ取定メシモノヲ廢棄スルモ無難
ニシテ且正当ナルヘシ
然ラハ則チ我合衆國ニ於テ正金^幣再行セン為メニハ我大藏省

ニテ此上金貨ヲ蓄積スルノ弊ハ必用ニアラスシテ又手初ノ所
置トスルニ及バサルヤ明クナリ
元來我合衆國政府ヨリ人民ハ弁償スヘキ負債アリテ之ヲ拂ハ
ンカ為メニ發行セシ所ノ合法紙幣ヲ今人民ヨリ我合衆國ノ政
府ハ弁償スヘキ金額ノ為メニ以前ト同等同位ノ價格ヲ以テ受
取リ他ニ紙幣ヲ發行シテ之ト引換ルナクンハ即チ正金ヲ以
テ之ヲ引キ換ヘ政府ノ義務ヲ尽ストモ差異ナキナリ
實地上ニ就テ之ヲ論スレハ紙幣償却ノ所為ハ内國諸税ノ收納
及ヒ其他ノ諸原因ニ因テ既ニ間断ナク行ハルモモノナリ而シ
テ此所為ヤ唯ニ我合衆國ノ政府ニテ一回收納シタル紙幣ヲ
再ヒ拂出スナク又我大藏省ヨリ年々通常ノ國債ヲ拂渡ス為
メニ要用ノ金額ハ更ニ増税ヲ賦課スルカ或ハ又公債証卷ヲ賣
却スルカ此兩途ニ由テ給備シ苟モ紙幣ヲ用ユルナクンハ遂

ニ其局ヲ結フニ至ラン
前會計年間中我合衆國政府ハ公有地ノ賣却ト内國諸税ノ收納
トヨリシテ大約一億二千五百万ドルノ合法紙幣ヲ受取シ
トアリ若シ此時ニ當テ我合衆國ノ政府ハ其紙幣ニ換ヘテ自他
ノ紙幣ヲ發行スルヲ莫セハ今日ヲ強スレテ既ニ紙幣引換ノ所
為ヲ完了シタルヘキナリ而シテ之ヲ完了スルモ細心以テ我政
府ノ理財ノ運轉方ヲ窺フ者ノ他ハ一人タズ斯ノ如キ非常ノ事
件カ其目前ニ起リシトテ更ニ知ラサル程ニ漸進無害ノ所置ヲ
以テ為スナク得タルヘシ余輩カ銀貨ヲシテ通用制限ヲ設ケス
大小ノ合法貨幣トナスナク付テ恐懼スル所ノモノハ唯ニ價格
ノ本位ノ低下ノミニ非ラスシテ尚ホ一層急懼スル所アルナリ
即チ物品相場ノ動搖急且劇ナラントト商業、礦業、及ヒ製造上等
ニ於テ徒ニ投機射利ノ術ヲ再起セシメント即チ是ナリ何ト

ナレハ斯ノ如キ幣害ハ恰モ紙幣流通ノ場合ニ於テルカ如ク本位ノ有名無実ナル時ハ必ス興起スヘキモノナレハナリ
抑モ余輩カ恐懼スル所ハ銀タル有名無実ノ本位カ其價格ヲ低下スルニ非ラスレテ其價格ヲ動搖スルト之ニ由テ生スル所ノ不安穩ノ感覺トニアリ尤モ此恐懼タル無根ノモノニ非ラサルヲ
ハ前ノ六月間ニ銀ノ相場カ一ポンスニ付四十七ポンスヨリ五十八ポンス半ニ回復シ乃チ千八百七十六年ノ始メニ其下落セシ所ノモノヲ殆ント復セシ一ノ一例ヲ以テ確証スルヲ得ヘシ
此不安穩及ヒ此不安穩ヨリレテ總テ正當ナル興業殖産及ヒ貿易上ニ生スヘキ患害ノ如キハ何如ノ豫防ヲ施スト至モ我人ヲシテ此害ヲ免レシムル能ハサルナリ
コムストツク銀礦ニ於テ自餘ノ銀脈ヲ發見シ或ハ又此上佛蘭

西ノ荷蘭ノ兩國カ廢銀ノ令ヲ布キ或ハ英領印土カ今ヨリ猶ホ一層輸出入ノ差異ヲ生シ輸出ヲ以テ輸入ヲ價ハサルヲ甚シキニ至ラハ次ノ半周年間ニアリテ銀價ノ再ヒ下落スルヲ未タ曾テ其比ヲ見サルニ至ラン
夫レ銀ノ頭上ニ斯ノ如キ不慮ヲ來スノ恐レアルモ尚ホ深ク之ヲ顧念セスレテ銀ヲ本位トナス時ハ到底貿易ノ繁榮ヲ來スナク殖産ハ愈々痿痺スルヤ必セリ
至賃ノ支拂ヲ再行セハ我理財上ニ大ナル關係ヲ生シ痛ク我回計ヲ害シ且ツ負債者ニ損害ト不幸トヲ蒙ムラシムヘシトシテ尚ホ未タ憂慮危懼シテ止マル人々ハ宜シク既往三年間ノ經驗ニ由テ其憂慮危懼ノ果シテ架空ニシテ根柢ナキモノナルヲ察知スヘシ殊ニ本年ノ經驗ヲ以テハ尚ホ然リトス
抑モ物品ノ高價ニ至リ鑿空ノ投機商ヲ起シ奢侈ノ營生ヲ來セ

ルハ是皆千八百六十四年ト千八百六十五年、兩年ニ我合衆國ノ大藏卿カ無量ノ紙幣ヲ発行シタルニ由ルモノニシテ乃チ之ニ由テ以テカヲ添ヒ加之此ボ三者ノ為メニ巨大ノ利益ヲ貪リ富者トナリタル輩ノ激動ニ由テ益々其勢ヲ増シ終ニ避クヘカラサル顛末ニ達シ直チニ千八百七十三年第九月、大騷擾ニ於テ全ク其局ヲ結ヘリ
凡ソ地價及ヒ物價ノ下落セシトト、不動産ノ賣買好カラサルト、高買ノ減シテ破産トナリシトト、鉄道ハ其委任者ノ手ニ落テ、製造所ノ衰凋セシトト、仮令ヒ活潑ノ事業ニ從事セサルモ其私ニ得ル所ヲ以テ今日ヲ送ル輩カ其歳入ヲ失シタルトト、又勤勞者カ其職業ヲ失シタルトト此教者ハ往古ヨリ今日ニ至ルマテ持ニ當一百年期ヲ以テ最モ甚タシトス
然レ此雨降リテ地堅マリ暴風一掃シテ空氣却テ清淨トナルト

ノ鄙諺ノ如ク仮令ヒ其幣害ハ巨大ナリト雖モ蓋シ以前貿上ニ起リシ諸騷擾ノ如ク此度ノ外モ十二月ヲ出ズシテ必ラス回復セシナルヘキニ惜哉我合衆國ノ大藏卿ハ諸法令成規ヲ犯シテ濫リニ其權勢ヲ張り苟モ國會ノ明許ヲモ得ズシテ更ニ二千六百万ドルラルルノ紙幣ヲ発行シ以テ在來ノ分ニ加ヘ猶モ紐テ一千八百万ドルラルルヲモ発行セントテ欲スルノ勢ヲ示シテ遂ニ其癒ユヘキ幣害ヲシテ癒ユヘカラサラシメタリ
此時ニ當テ實ニ我合衆國ノ人民ハ其後來ニ期スヘキ所如何ヲ知ラスシテ信憑ハ全ク地ニ落チ財主ハ假令ヒ貸附ヲナスモ其最前貸附タル貨幣ノ半價ヲモ有セサル貨幣ヲ以テ弁償セラレシトテ恐レ貸附ヲ為カンヨリ寧ロ其財本ヲ空シク筐篋中ニ止ムルトテ好ノリ故ニ只一時ノ騷擾ニシテ忽チ從前ノ勢力ヲ復スヘキ幣害モ余輩カ既往三年間ニ目撃セル如キ貿易ト殖産ト

、大衰凋ヲ来スニ至レリ

此幣害久シキニ涉リ為メニ我合衆國ニ能ク職ヲ勵ミ業ヲ修ムル貴重ノ人民ヲシテ窮困饑渴ノ域ニ墜落セシメンコト實ニ鮮少ナラス抑モ斯ノ如キ弥久ノ幣害ヲ来セシ原因ハ所謂貨幣ノ充溢ヲ欲願スル論者ノ唱フル貨幣缺乏不足ニ非ラサルコトハ既ニ多年ノ經驗ヲ以テ証明セシ所ナリ

夫レ此幣害ノ特ニ劇烈ナリシハ千八百七十五年ト千八百七十六年ノ初メヲ以テ最モ甚シト為ス而ルニ此幣害最モ劇烈ナリシ年間モ敢テ貨幣ノ缺乏不足ヲ証ヘタルヲ庫カス却テ貨幣ノ充溢ヲ憂ヒシ程ナリキ試ニ看ヨ當時銀行及ヒ財主輩ハ其所持セル資本ノ運轉ニ苦ミ何如シテ之ヲ使用スヘキヤニ迷惑セシニ非スヤ

此故ニ銀行及ヒ財主輩ハ時期ヲ誤マリ機會ヲ失シ其所有セル

資本ノ猶ホ一層下落ニ及ハシコトヲ憂懼シ合衆國政府ノ公債証書ノ如キ確乎不抜ノ擔當ヲ出セハ三分若クハ二分半ノ低利ニ於テ所謂御望次第ニ之ヲ貸與センコトヲ切ニ希望セリ

此時ニ當テ既ニ世上ニ流通セル紙幣ノ總額ハ殆ト七億四千万ドルナルニ登リ一ドルラル紙幣ハ僅カニ大約八十七セントノ價格ニシテ貿易ト殖産ノ事業ハ益々痲痺セルカ故ニ僅カニ三分ノ利子ヲ以テ所謂御望次第ニ借ルコトヲ得タリ然ルニ今我合衆國ヲ其困難中ヨリ救済シ出スノ方法トシテ志ホ此上貨幣ヲ發行センコトヲ主張セル者アランニハ固ヨリ世人ノ嘲笑ヲ免レサルコト明カナリ

右ノ幣害ニ漸ク千八百七十六年ノ後半期ニ至リ自然ニ医治ノ道ニ就ケリ然リ而シテ其医治ノ策如何ヲ問ハ、則チ嚮ニ紙幣ヲ監製シテ貨幣ノ價格ヲ動搖セシメタルヨリシテ當時ノ幣害

ノ本原トナリ困難ヲ重子タル所ノモリニ由テ之ヲ匡治セリ
當時紙幣ハ法制ノ助ヲ俟ラス又銀行及ヒ高買ボノ悞議ヲモ
クスシテ追次自然ニ減少スルニ至レリ
凡ソ社會ニ於テ信任ハ尽ク感絶シ興業ハ其翼ヲ絶断セラレク
ルヨリシテ夥多ノ銀行ハ其資本ノ有益ナル使用ヲ為スニ苦ミ
其融通紙幣ノ全部若クハ其一部分ヲ廢止シ或ハ其營業ヲ輟メ
或ハ銀行會社等ハ其本職分タル預リ金及ヒ割引ノ二者ノミニ
其事業ヲ限制セルニ及ヘリ斯シテ銀行等ハ其重大ノ税金ヲ免
レ且ツ其發行紙幣引換ノ準備擔當トシテ曾テ合衆國政府ニ預
ケ置キタル政府ノ公債証書ヲ取戻スルヲ得タリ
而ルニ此公債証書ハ金貨ノミヲ以テ拂渡サルモナルカ故
ニ當時市場ニ於テ高價ニテ取引ニナリタリ由テ銀行ハ此高價
ヲ以テ其政府ヨリ取戻シタル公債証書ヲ賣却シタルルカ故ニ三

分ノ低利ヲ得テ其發行紙幣ヲ貸出スルヨリモ却テ巨大ノ利益
ヲ得タリ
假令ヒ我合衆國ノ政府ハ千八百七十五年十一月十四日ヲ以テ
條例ヲ布キ凡ソ国立銀行ノ紙幣發行増加ノ諸制限法ヲ悉皆廢
止シ是ニ由テ一層紙幣ノ増加ヲ來シタリト雖モ我合衆國ノ紙
幣寮ノ報告書ニ依レハ千八百七十五年十一月十四日ヨリ千八
百七十六年十一月一日ニ至ル迄合法紙幣及ヒ銀行紙幣ノ減
少セシテ總計四千五百万ドルヲ有餘ニ至リシヲ明瞭ナリ
此紙幣減少ノ一今日ニ至ルモ尚ホ未タ輟マスシテ尚ホ一層
銀行紙幣ヲ減却セン見込ニテ現ニ出納頭ニ預ケアル合法紙幣
ハ千八百七十六年十一月一日ヲ以テ算スルニ其高殆ト二千
一百万ドルナルナリ故ニ二十二ヶ月間ヲ俟ヌシテ自然ニ紙幣
ノ減少セル高ハ總計大約六千六百万ドルニ即チ今世上ニ流

通スル紙幣ノ金額ノ百分ノ九ナリキ
抑モ斯ノ如ク自然ニ紙幣ノ減少ヲ生シ其效驗果シテ何如ナリ
シヤ請フ試ニ其一ニテ舉ケン信任ノ絶無殖産ノ痿痺ハ既ニ經
過シ去リテ貿易大ニ其旧狀ニ復スルノ端緒ニ就ケリ
又我合衆國ノ貿易ノ輸出ノ多クキヲ甚タ著シキヲ以テ英回宛
ノ為替相場ハ遂ニ平價ヨリ下リ金貨ハ絶エス我合衆國內ニ流
入シテ其金額ハ此類ナキ巨大ニ至レリ
我造幣寮頭ノ預算ニ依レハ千八百七十六年六月三十一日ニ於
テ我合衆國ニ存在セル金銀貨幣及ヒ地金トモ合セラ一億八千
一百万ドルヲ此有餘ニシテ此内大約三千万ドルラハ銀ナ
リ
千八百七十六年秋三ヶ月ノ間我合衆國ニ於テ輸入ヨリ輸出ノ
大ナリシカ為メニ金ノ輸入巨額ナリシト又同年間金銀二者ノ

産出甚タ大ナリシトヲ以テ千八百七十七年第一月一日ニ於テ
我合衆國ニ在リシ金銀二者ノ總額ハ少ナクトモ二億二千万ド
ルラハ下ラサリシト疑ヲ容レサルナリ
我輩署名人ノ所見ニ依レハ此二億二千万ドルラハ金額ハ即
チ正金拂ノ再行ヲ今日ヨリ高ホ早ク着手スルト虽氏更ニ困難
ヲ醸スナク騷擾ヲ生スルナクシテ能ク之ヲ施行スルヲ得ル
ニ足ルヘキ基礎ナリト信ス
何トナレハ正金拂ヲ再行スルノ結果ハ是迄唯ニ外國貿易上及
ヒ我合衆國大藏省トノ項タル取引トニ於テノミ用ヒ来リ目今
半ハ隱匿ノ模様アル金貨幣ヲシテ其現況ヲ復セシメ再ヒ貨幣
トシテ其功用ヲ尽サシメ以テ我合衆國ノ活潑ナル通貨幣ノ一
部分タル其職ヲ尽サシムヘケレハナリ
斯ノ如ク金貨幣ヲ救出シテ徒ニ隱匿セシムルヲ勿ラシムル時

ハ曾テ紙幣ノ一部ヲ引上ケタルカ為ニ生セシ所ノ欠乏ヲ容
易ニ充塞スルハ固ヨリ論ヲ俟タス

斯ノ如クシテ今日ニ月ニ旧状ニ復サントスル信任ト人々致々
トシテ貿易製造ノ事業ニ心ヲ傾ケ愈其盛昌ヲ来ストニ金貨顯
出ノ效驗ヲ併合セシ顧フニ此正金拂ノ再行ヨリ直ニ生スル所
ノ結果ハ諸物價ノ下落ヲ来スニ非ラヌシテ却テ之カ騰貴ヲ生
シ現ニ我負債アル諸州ヲ惠ミ亦タ以テ一般ニ我合衆國ノ負債
アル人民ニ利益ヲ與ヘンテ明カナリ

以上我輩ノ論スル所ニ付更ニ言辭ヲ交換シテ之レヲ説カシニ
我合衆國カ既往三年間ニアリテ悩苦セシ大幣害ヲ来セシ大源
因ニ即テ信任七減シテ人々將來ヲ信憑セサリシコト是レナ
リ
抑モ信任ノ七減ヲ来セシ所以ハ當時ニ在テ苟モ一定ノ價格ノ

標準ナルモノ、アラサリシト我合衆國ノ國會カ再ニ紙幣ヲ
濫製スヘシトノ危懼ヨリシテ市場ニ不安穩ヲ来セシトト是ナ
リ

抑モ斯ノ如キ悲歎スヘキ物情ヨリシテ最大ノ不幸損失ヲ蒙リ
シモノハ何等ノ人ツヤ此等ノ人ハ固ヨリ債主ノ社會ニ非ラヌ、
財主ニ非ラヌ、負債ノ抵当トナラサル家屋及ヒ地面ノ所有者ニ
非ラヌ、金貨ヲ以テ拂フヘキ政府ノ公債証卷ノ所有者ニ非ラヌ
又既ニ築造落成シ器械已ニ整備シテ仮令低下ノ割合ナリト雖
モ高ホ若干ノ分配金ヲ支給スル鉄道ノ所有者ニモ非ラサルナ
リ

此等ハ即チ其退テ據ルヘキ根柢アリ実ニ其利得ハ減少シ或ハ
絶テ之ヲ得ル能ハサルヲアルヘシト雖モ之ヲ得ルト得サルト
ヲ以テ比較スレハ大凡十ノ七八ハ之ヲ得ヘク或ハ至ク絶テ之

レヲ得ルヲ能ハサルトスルモ高キ其資本ハ依然トシテ存在ス
ヘシ
然レハ負債者及ヒ勤勞者ノ如キハ一時退テ危難ヲ免ルヘキ根
柢ヲ有スルヲナク此輩ハ直ニ暴風ノ危害ヲ其身ニ受ケサルヲ
得ス

實ニ此輩ニトリテ信任ノ亡滅ヨリ生スル所ノ避クヘカラサル
結果即チ之ニ由テ起ル貿易ノ衰敗ト各興業ノ凋頽ハ即チ其職
業ノ欠缺絶望ノ破産及ヒ終極ノ饑渴ナリ

凡ソ社會中ニ於テ何等ノ人モ勤勞者及ヒ他人ノ資本ニ拠テ以
テ營生ヲ為ス者ヨリ一定ノ價格ノ標準ノ回復スルヨリシテ巨
大ノ利益ヲ得ル者ハアラサルヘシ

此輩ニトリテハ一ドルラレハ貨幣カ一月若クハ一年ヲ經
テ尚ホ今日有スル價格ヨリ毫モ違ハサル價格ヲ有スルヲノ確

實ナルハ即チ常ニ職業ノ断絶スルナク其給料ハ一定シテ毫モ
動搖ヲ生スルヲナク市場安穩ニシテ更ニ騷擾ナク利益大ラス
ト庶民亦之ヲ失フヲナク將來ニ於テ毫モ憂慮スルヲ要セ
スト去フト同一ナリ

我合衆國ノ南部及ヒ西部ノ諸州ハ我東部及ヒ中央ノ諸州ニ對
シテ既ニ巨大ノ負債アリ而シテ高キ西南諸州ハ其夥多ノ隱匿
セル無比無尽藏ノ財源ヲ開發センカ為メニ緩ク以テ東部及ヒ
中央諸州ヨリ其資本ヲ借用スルヲ以ツテ今日ノ急務トナスナ
リ

我合衆國ニ於テ殖産興業貿易ノ痼疾衰凋ヨリシテ損害ヲ被
リシハ西南諸州ヲ以テ特ニ甚シトス其故何トナレハ西南諸州
ニ於テハ苟モ退テ柢ルヘキノ財源アラサルヲ以テ信任及ヒ興
業ノ潮水及ヒ旧狀復シテ殖産ノ車輪ヲ回轉スルニ非サレハ手

ヲ空フシテ徒ニ月日ヲ經過セサルヲ得サレハナリ
夫レ西南諸州ニ於テ既ニ成就セル進歩殖産ノ道ノ開ケ貿易ノ
事業舉リタルヨリシテ生スル所ノ諸利益ハ殆ント皆前ニ西南
諸州カ借受シ負債ノ証タル昏入証昏及ヒ公債証昏ノ利子ヲ拂
フ^ハ為メニ吸尽サル、モノナリ是レ此迄西南諸州カ享受セシ
幸福繁栄中最上ノ報謝金ナルモノナリ
現今紙幣ヲ増加セシ^テ主張スル我西南諸州ノ人民ハ紙幣ノ
數額愈々増加シ随テ其價格必然下落セハ其既ニ契約セル負債
ノ利子ヲ支拂スルニ於テハ大ニ此輩ノ為メニ便益ヲ生シ且ツ
東部諸州ヨリ再ヒ資本ヲ流入シテ其地方ニ灌溉シ投機者ノ心
意ヲ奨励スヘシト思考スルニ外ナラス
然レモ三尺ノ童子ト雖モ其企望スル二箇ノ結果ハ互ニ西立セ
サルヲ知ルナリ

爰ニ一人アリ既ニ莫大ノ負債ヲ擔任シ尚ホ須要ノ事情アルヲ
以テ自餘若干ノ負債ヲ為サントシ即チ債主ニ向ツテ余未ダ遠
カニ破産セスト雖モ既ニ荏苒緩慢破産ヲ致スノ景況ニ咎スル
ノ色アリ余勉ムルト雖モ一ドルラレニ對シテ九十三セント以
上ヲ返還スル能ハサルヘシ而シテ此九十三セントノ割賦金モ
速カニ減少セシ^テヲ確實ニスル為メ余ハ種々ノ方策ヲ行フカ
故ニ其割賦金早晚皆無ニ至リ是ニ由テ全ク負債ヲ返却スル^ト
能ハサルニ至ルモ敢テ余ノ關係ヲ為サ、ル所ナリト云ハ、何
如ク負債ヲナス^トヲ得シヤ
斯ノ如キ事情ヲ公然開陳スルモ尚ホ其負債者ヲシテ新ニ負債
ヲ任セシムル債主アラハ我輩之ヲ指シテ將カニ奇人ト云ハン
トス

我言衆國ニ於テ今ヨリ前キ既ニ正金拂再行ノ行ハレサリシ一

項ハ己ニ我合衆國ノ榮譽ヲ汚辱セサルヤ否ニ於テ實ニ一大議
論アリタリ

我合衆國政府ハ天下ノ信任ヲシテ益堅固ナラシムベキ法ト稱
セル千八百六十九年三月ノ法律ヲ以テ嚴格ニ誓フテ曰ク合衆
國合法紙幣ハ正金交換ハ之ヲ行フヲ得ヘキ第一ノ機會ニ於
テ着手スヘシト

千八百七十六年第十一月一日ニ於テ世上ニ流通セル合法紙幣
ノ全額ハ即チ三億六千七百五十三万五千七百十六ドルラ
リキ

然レハ合衆國大藏卿ノ憲ミニ由リテ余カ手ニ得タル左ノ表ニ
依レハ合衆國政府ハ獨リ金貨ヲ以テ支拂スヘキ負債ノ既ニ期
限ニ至レルモノヲ悉皆弁償セル後チ剩餘金貨ノ三億八千九百
七十万。五千一百四十四ドルラ此百分ノ六十八ヲ千八百六十

九年第七月一日ヨリ千八百七十六年第九月三十日マテニ公然
競賣シ五千八百〇二万〇百九十五ドルラ此百分ノ九十三ノ步
合金ヲ得タルヲ明瞭ナリ

斯ノ如ク賣却セル剩餘金貨ノ全額ハ當時世上ニ流通セル合法
紙幣ノ總額ヲ交換スルニ必要ナル金額ニ過超スルヲ大凡二千
二百万ドルラ此ナリ事情ニ注目スレハ何如ク我合衆國政府
カ曾テ行フヲ得ヘキ第一ノ機會ニ於テ其合法紙幣ヲ交換ス
ヘシト云ヒテ嚴格ニ入質セシ誓言ヲ能ク踐行セリト云フヲ
得ンヤ

其全貨賣却ヨリ得タル紙幣ハ別ニ我合衆國ノ必要ナル經費ヲ
支給スルニ要用ナラサリナリ何トナレハ爰ニ余カ論スル所
ノ期節ノ間我合衆國大藏省ハ總テ通常經費ヲ拂セラ後チ尚ホ
未ク拂フヘキ期限ニ至ラサル公債ノ四億三千九百万ドルラ此

有餘ノ高ヲ支拂セルヲ以テナリ
 千八百六十六年七月一日ヨリ千八百七十六年十月一日マテニ
 合衆國大藏省ノ刺録金債ノ賣却高及ヒ其歩合ノ入額一覽表ハ
 即チ左ノ如シ

時期	賣却高		歩合高	
	弗位	小数	弗位	小数
從千八百六十五年七月一日 至千八百六十七年六月三十日	三八、三三七、九二八	七七八	一四、一五四、八四三	五九三
從千八百六十七年七月一日 至千八百六十九年六月三十日	九四、二〇九、六五三	七九九	二一、九三四、九八六	五九四
從千八百六十九年七月一日 至千八百七十年六月三十日	三二、〇一三、二九八	四九九	一二、三七六、二八九	三三八
從千八百七十年七月一日 至千八百七十二年六月三十日	六五、〇八一、九一六	九〇〇	一五、二九四、一三七	三三七
從千八百七十二年七月一日 至千八百七十四年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	八、八九二、八三九	九九五
從千八百七十四年七月一日 至千八百七十六年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	九、四一一、二六三	七六九
從千八百七十六年七月一日 至千八百七十八年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	九、四一一、二六三	七六九
從千八百七十八年七月一日 至千八百八十年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	九、四一一、二六三	七六九
從千八百八十年七月一日 至千八百八十二年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	九、四一一、二六三	七六九
從千八百八十二年七月一日 至千八百八十四年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	九、四一一、二六三	七六九
從千八百八十四年七月一日 至千八百八十六年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	九、四一一、二六三	七六九
從千八百八十六年七月一日 至千八百八十八年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	九、四一一、二六三	七六九
從千八百八十八年七月一日 至千八百九十年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	九、四一一、二六三	七六九
從千八百九十年七月一日 至千八百九十二年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	九、四一一、二六三	七六九
從千八百九十二年七月一日 至千八百九十四年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	九、四一一、二六三	七六九
從千八百九十四年七月一日 至千八百九十六年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	九、四一一、二六三	七六九
從千八百九十六年七月一日 至千八百九十八年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	九、四一一、二六三	七六九
從千八百九十八年七月一日 至千九百零年六月三十日	七二、四二二、〇四二	〇三三	九、四一一、二六三	七六九

時期	賣却高		歩合高	
	弗位	小数	弗位	小数
從千八百七十二年七月一日 至千八百七十四年六月三十日	七六、九九三、二四六	五四一	一一、五六〇、九三〇	八九一
從千八百七十四年七月一日 至千八百七十六年六月三十日	三八、〇一三、九七四	八〇〇	五、〇三七、六六九	二二一
從千八百七十六年七月一日 至千八百七十八年六月三十日	三三、四〇一、五二六	四二二	三、九七九、二七九	六九一
從千八百七十八年七月一日 至千八百八十年六月三十日	二九、〇九二、二五一	四四四	三、七二三、五四五	八〇一
從千八百八十年七月一日 至千八百八十二年六月三十日	一一、〇二一、一一一	二五五	一一、九五一、八八九	九六一
從千八百八十二年七月一日 至千八百八十四年六月三十日	一一、〇二一、一一一	二五五	一一、九五一、八八九	九六一
從千八百八十四年七月一日 至千八百八十六年六月三十日	一一、〇二一、一一一	二五五	一一、九五一、八八九	九六一
從千八百八十六年七月一日 至千八百八十八年六月三十日	一一、〇二一、一一一	二五五	一一、九五一、八八九	九六一
從千八百八十八年七月一日 至千九百零年六月三十日	一一、〇二一、一一一	二五五	一一、九五一、八八九	九六一

合衆國政府ハ此表ノ他ニコレ子ノ事件ノ裁判ニ由テ得タル
 金債ヲ千八百七十六年ノ五月ト八月トノ兩度ニ賣却セリ其
 高ハ八百三十七万四千七百十四ドルト七十八万八千五百
 十其歩合ノ入額ハ百〇一万四千二百二十二ドルト八十五
 万トナリ之ヲ百分ニ平均スレハ一割二分ノ割合ナリ
 以上我輩ノ論セシ所ヲ統括シテ該報告書ノ要旨ノ條々ヲ左ニ

掲載ス

第一條

昨年同全銀両全属ノ價格比例ニ於テ大變動ノ起リシハ殆シト全ク銀ノ價格ノ動搖ニ基本セリ何トナレハ全ヲ以テ計算スレハ一般ニ物品ノ價格ハ前後ヲ比較スルモ安定ニシテ動搖セサレハナリ

第二條

斯ノ如ク銀價カ動搖スルハ即チ銀價ノ大下落ヲ示ス所以ナリ而シテ此下落ハ三箇ノ原因ニ根スルモノナリ

(第一)「コムストック」銀礦ノ巨大ナル産出ナリ即チ此銀礦タル輓近数年ノ間ニ毎年宇内ニ産出セル地銀ノ平均高ノ二倍ヲ産出スルニ至レリ

(第二)銀ノ求需減少セシナリ即チ五年以前ヨリ英國所屬ノ

印度地方ニ輸出スヘキ銀ノ求需ハ大ニ減少セリ

(第三)廢銀ノ令ナリ即チ第一原因ニ云フ時期内ニ日耳曼哇馬瑞丁那威ノ諸國ハ其銀貨ヲ廢止シ荷蘭併蘭西及ヒ其他羅甸貨幣聯邦ニ加入セル諸國ハ銀貨ノ鑄造ヲ制限セリ

第三條

斯ノ如ク銀價カ動搖ヲ致スハ是銀ノ全ク價格ノ標準トシテ用ユルニ足ラサル実証ナリ日耳曼及ヒ其他歐羅巴諸國カ廢銀ノ令ヲ發行セルハ銀ノ貨幣トスルニ足ラサルヲ知り隨ツテ貨幣及ヒ合法貨幣ノ制度ヲ変更セルコトヲ表スル所以ナリ

第四條

第二條ニ揭示セル銀價下落ノ三原因カ永久銀價ヲ下落セルヤ否ノ疑問ハ尙今確答スル能ハサル所ナリ

故ニ迂濶ノ計算變跡ノ理論ヲ用カテ法制ヲ施スハ無難ノ所
置ニ非ルナリ

第五條

所謂金銀兩本位ヲ設立セシメテノ企望ハ全ク惑ヒルモノニシ
テ決シテ行フヘカラサルモノナリ
佛蘭西及ヒ合衆國ノ兩本位ヲ設立セシメテノ試ハ實ニ久キニ
至リタリト雖ヒ全ク其功ヲ奏スルコト能ハスシテ錯乱不便ヲ
生シ數々法制ヲ變更シ唯ニ單一本位トシテ金或ハ銀ヲ交々
設立スルノ外何ボノ功ヲモ立ツルコト能ハサリキ

第六條

銀ハ亦タ貿易ノ冠タル媒介トスルニ足ラサルナリ

第一銀ハ其價格ニ比スレハ量目並ニ形容巨大ニシテ巨額
ノ取引上ニ用ヒ或ハ國々ノ間ノ貿易ノ差金ヲ償却スル為

メ用ユルニ於テハ至テ不便ナリ

第二金貨ノ摩滅損害ハ至テ輕少ニシテ殆ント人目ニ入ラ
サルニ銀貨ハ摩滅剪斷ノ損失ヲ蒙リ易ケレハナリ

第七條

凡ソ貨幣中ニ於テ銀ノ占ムヘキ適當ノ位地ハ補助貨幣即チ
ドクシ、モニ、位地是ナリ

而シテ此補助貨幣ハ法律ノ為メニ其實價ヨリモ著ルシク價
格ヲ張り唯ニ法律ヲ以テ取極メタル分界ノ内ニミ合法貨
幣トシテ用ヒラル、モノナリ

抑々其分界タルヤ唯ニ一般ノ便利ト不便トニ由テノミ確
定スルモノナレハ今之ヲ弘張シテ銀貨ヲ以テ二十ドルラ
以下諸般ノ金額ヲ償却スヘキ合法貨幣トナシ今既ニ世上ニ
流通スル銀貨ノ額ヲ非常ニ増加スルト雖ヒ隨テ紙幣ノ同額

大蔵省

ヲ減少セハ敢テ向然スヘキニ非ルナリ

第八條

下向中ノ一條タル合法紙幣ヲシテ金屬本位ト併行セシメシトノ議ハ大ニ不和且不正ナリ

夫レ我合衆國カ既往三年間貿易及ヒ殖産ノ痲痺ニ悩ムル最大原因ハ紙幣ノ制度ヲ用ヒタルニ在リ且我合衆國政府ハ既ニ數年前即チ千八百六十九年ニ嚴格ニ誓フテ正金拂再行ノ行ハルヘキ第一ノ機會ニ於テ之ヲ行ハント云ヒシニ非ラスヤ

第九條

方今天下ノ事情ヲ通觀スルニ紙幣ハ自然ニ平均一月三百萬ドルラレ割合ヲ以テ既往二十二ヶ月間減少セルカ故ニ數年ナラスシテ容易ク正金拂再行ヲ實施セシムヘキ傾勢ナリ

此善良ノ結果ヲ成熟シ而シテ我合衆國貨幣ヲ政羅巴州ノ最モ繁榮ニシテ又能ク治安ナル通商國ノ貨幣法度ト凡テ緊要ノ條款ニ於テ同一ナラシメントテ願ハ、我輩ハ合衆國政府カ左ノ教策ヲ採用アラントテ謹シテ積成ス

第一策

各純銀三百四十五グレイン十分ノ六ヲ有スルドルラレ貨幣ヲ鑄造セン

此銀ドルラレヲ二十ドルラレヲ越ヘカル諸金額ノ合法貨幣ト為カン

此銀貨ハ五ドルラレ以下ノ紙幣ト交換ニ於テ發行セラレシ

其交換ニ於テ收納セル一ドルラレ及ヒ二ドルラレノ紙幣ハ直チニ之ヲ塗抹消尽スヘキヲ然レモ其銀ドルラレハ海關稅

ヲ除クノ外總テ合衆國政府ハ人民ヨリ弁償スヘキ負債ノ丈
拂ニ於テ何如ノ金額ト至ル之ヲ受納スヘキ
千八百七十八年一月一日以後ハ五ドル以下ノ紙幣ハ
合衆國大藏省及ヒ銀行ヨリ決シテ之レヲ拂ヒ出サズ又合法
貨幣ト爲サ、ラシ

第二策

後乘一ドルラ此ニ付キ純金二十二グレート十分ノ六ノ割合
ヲ以テ金貨ヲ鑄造シ半ドル即チ五セントノ金貨ヲシ
テ英貨一ポンドステルリニグト殆ント差違ナキ貨幣ヲラシ
メン
此割合ヲ以テ鑄造セル金貨ハ何如ノ金額ヲモ拂フヲ得ヘ
キ合法貨幣ト爲シ
然レモ恃ニ金貨ヲ以テ支拂スヘキヲ明約セル負債及ヒ其

他ノ契約ニシテ此法ノ頒布以前ニ係ルモノハ特ニ各々純金
ノ二十三グレート十分ノ二ヲ有スル金ドルヲ以テ償還
解約スヘシ然ラカレハ其割合ヲ以テ新金貨ニテ之ヲ爲スヘ
キヲ要サ、ルヘカラス

第三策

我合衆國政府ハ内國諸税ノ徵收ニ由テ收納セル紙幣ノ内毎
月三百万ドル以下ヲ再ヒ世上ニ流通セシテ之ヲ塗抹
消尽セシ
是ニ由テ我大藏省中ニ貨幣ノ缺少ヲ來セル時ハ大藏卿カ既
ニ法律ニ由テ準許ヲ受ケタル方法即チ合衆國公債証卷ノ賣
拂ニ由テ之ヲ充備セシ
是余カ謹シテ合衆國政府ニ獻議スル所ナリ

フランシス、ボーエン

